

令和 3 年 度
教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価に関する報告書



令和 4 年 9 月
加須市教育委員会

目 次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	点検及び評価の基本方針	
	（１）目的・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（２）対象事業・・・・・・・・	1
	（３）対象期間・・・・・・・・	2
	（４）実施方法・・・・・・・・	2
3	令和３年度教育委員会関連事業一覧・・・・・・・・	3
4	令和３年度における新型コロナウイルス感染症の影響・・・・・・・・	1 1
5	各事業の点検評価	
	（１）基本目標の達成度評価・・・・・・・・	1 2
	（２）基本目標の取組状況・・・・・・・・	1 5
	（３）各事業の達成度評価・・・・・・・・	1 9
6	令和２年度評価を踏まえた取組状況等・・・・・・・・	7 4
7	学識経験者の意見・・・・・・・・	8 2
8	おわりに・・・・・・・・	9 7

1 はじめに

加須市教育委員会では、平成27年12月に制定した「加須市人づくり宣言～教育大綱～」に掲げる三つの市民の姿の実現を目指し、これからの時代にふさわしい本市の教育を総合的かつ計画的に推進するため策定した「第2次加須市人づくりプラン」に基づき、「家族・地域の絆を大切に、生きる力を醸成する」を基本理念として、7つの基本目標、26の施策を位置づけ、加須市の教育行政を総合的かつ計画的に推進していきます。

各事業の推進にあたっては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、毎年度、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しております。

※この点検及び評価は、事業ごとに作成した事業管理シートを基本とした、PDCAサイクル（計画・実行・評価・見直しのサイクル）による本市独自の行政評価システム「加須やぐるまマネジメントシステム」により実施します。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の基本方針

(1) 目的

加須市教育委員会が住民への説明責任を果たし、効果的な教育行政を推進するため、自己点検評価を行います。

(2) 対象事業

加須市人づくりプランに位置付けられている教育委員会に関連する全ての事業（97事業）を対象とします。

子育て支援課	1事業	生涯学習課	21事業	図書館課	5事業
こども保育課	3事業	文化・学習センター	3事業	学校教育課	31事業
教育総務課	10事業	スポーツ振興課	20事業	学校給食課	3事業
				合計	97事業

(3) 対象期間

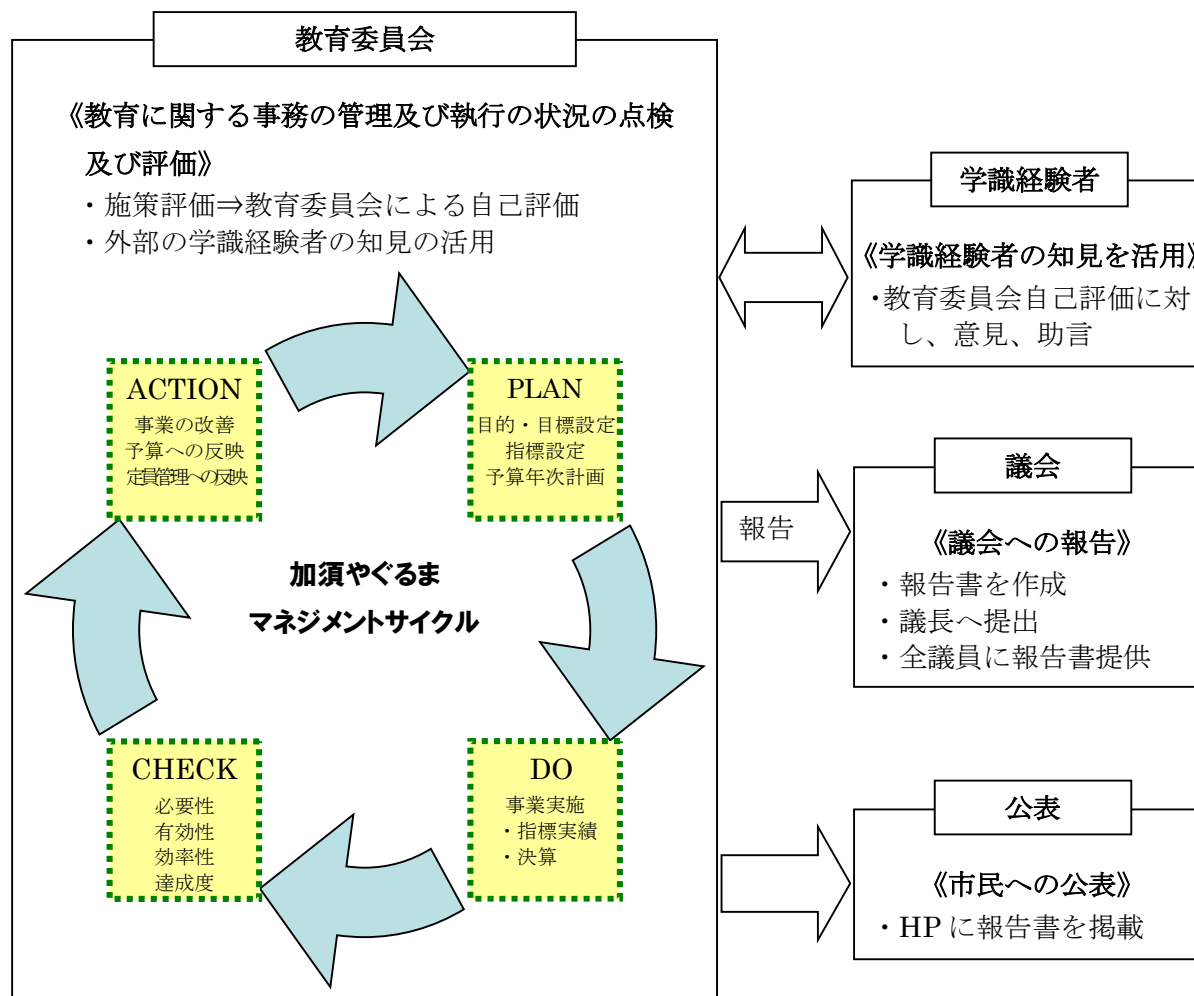
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(4) 実施方法

加須市総合振興計画後期基本計画の事業管理シートを活用し、各事業の実績に基づき、達成度について自己評価を行うとともに、その評価を踏まえ、方向性を検討しました。

また、令和2年度の点検・評価に対し、学識経験者からの意見・助言をいただいた事業の取組状況を検証し、これらを取りまとめました。

なお、令和3年度の点検・評価に当たりましても、外部の学識経験者の意見や助言をいただき、今後の事業推進に活用してまいります。



3 令和3年度教育委員会関連事業一覧

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
01自ら学ぶ力と確かな学力を育成します						
01幼児教育の推進						
		0101-02	2131-16	幼稚園預かり保育事業		こども局こども保育課
		0101-03	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
02一人ひとりを伸ばす教育の推進						
		0102-01	2211-05	少人数学級推進事業		学校教育部学校教育課
		0102-02	2211-11	学力アップ事業		学校教育部学校教育課
		0102-03	2211-12	小学校英語教育推進事業	主	学校教育部学校教育課
		0102-04	2211-13	中学校英語教育推進事業	主	学校教育部学校教育課
		0102-05	2211-20	サイエンススクール事業	主	学校教育部学校教育課
		0102-06	2211-30	小学校教材用備品整備事業		生涯学習部教育総務課
		0102-07	2211-31	中学校教材用備品整備事業		生涯学習部教育総務課
		0102-08	2211-32	生徒派遣援助事業		生涯学習部教育総務課
		0101-09	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0102-10	2314-04	ブックトーク・おはなし会開催事業	再掲	生涯学習部図書館課
		0102-11	2513-03	集会所管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
03教職員の資質能力の向上						
		0103-01	2211-08	学校訪問指導事業	主	学校教育部学校教育課
		0103-02	2211-07	学習指導改善研究事業	主	学校教育部学校教育課
		0103-03	2211-15	教師用教科書・指導書措置事業		学校教育部学校教育課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0103-04	2211-16	社会科副読本資料作成事業		学校教育部学校教育課
		0103-05	2212-02	教育センター運営事業	再掲	学校教育部学校教育課
	04ICTを活用した教育の推進					
		0104-01	2211-09	学校ICT教育活用事業	主	学校教育部学校教育課
	05特別支援教育の推進					
		0105-01	2211-14	特別支援教育推進事業		学校教育部学校教育課
		0105-02	2211-25	小学校特別支援教育就学奨励事業		学校教育部学校教育課
		0105-03	2211-26	中学校特別支援教育就学奨励事業		学校教育部学校教育課
	06学びを支える経済支援					
		0106-01	2211-21	小学校就学援助事業		学校教育部学校教育課
		0106-02	2211-23	中学校就学援助事業		学校教育部学校教育課
		0106-03	2211-27	河野博士育英事業		学校教育部学校教育課
		0106-04	2211-24	避難者支援就学援助事業		学校教育部学校教育課
	07自立する力の育成					
		0107-04	2211-17	防災教育推進事業		学校教育部学校教育課
		0107-10	2211-22	学校グリーンカーテン事業		学校教育部学校教育課
		0107-15	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	主	学校教育部学校教育課
		0107-16	2211-19	市職員マンパワー活用事業		学校教育部学校教育課
		0107-17	2211-12	小学校英語教育推進事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0107-18	2211-13	中学校英語教育推進事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0107-19	2211-20	サイエンススクール事業	再掲	学校教育部学校教育課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
02豊かな心を育む取組を推進します						
	01いじめ対策の充実					
		0201-01	2212-01	いじめ・不登校対策事業	主	学校教育部学校教育課
		0201-02	2212-02	教育センター運営事業	再掲	学校教育部学校教育課
	02不登校対策を中心とした教育相談の推進					
		0202-01	2212-02	教育センター運営事業	主	学校教育部学校教育課
		0202-02	2212-01	いじめ・不登校対策事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0101-03	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
	03学校等における人権教育の推進					
		0203-01	2513-03	集会所管理運営事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0203-02	2511-04	人権教育推進事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
		0203-03	2211-08	学校訪問指導事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0203-04	2211-07	学習指導改善研究事業	再掲	学校教育部学校教育課
03安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します						
	01安全・安心な給食の提供					
		0301-01	2213-01	給食センター管理運営事業	主	学校教育部学校給食課
		0301-02	2213-06	給食費収納対策事業		学校教育部学校給食課
		0301-03	99111-00	給食センター再編調整事業		学校教育部学校給食課
	02食育の推進					
		0302-01	2211-07	学習指導改善研究事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0302-02	2213-01	給食センター管理運営事業	再掲	学校教育部学校給食課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
	03健康の保持増進					
		0303-01	2213-02	小学校健康推進事業		学校教育部学校教育課
		0303-02	2213-03	中学校健康推進事業		学校教育部学校教育課
04質の高い教育のための環境づくりを推進します						
	01安全で安心な教育環境の整備					
		0401-01	2214-01	小学校管理運営事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-02	2214-02	中学校管理運営事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-03	2141-01	公立幼稚園管理運営事業		こども局こども保育課
		0401-06	2214-03	学校教育管理事業		学校教育部学校教育課
		0401-07	2214-04	小学校施設整備事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-08	2214-05	中学校施設整備事業	主	生涯学習部教育総務課
		0401-09	2142-01	公立幼稚園施設整備事業	主	こども局こども保育課
	02学校ICT環境の適正な管理					
		0402-01	2211-09	学校ICT教育活用事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0402-02	2214-04	小学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0402-03	2214-05	中学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
	03市立学校の適正な配置					
		0402-01	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0402-02	2214-04	小学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0402-03	2214-05	中学校施設整備事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0403-04	2142-01	公立幼稚園施設整備事業	再掲	こども局こども保育課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
05家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します						
	01学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進					
		0501-01	2215-01	学校いきいきステーション事業	主	学校教育部学校教育課
		0501-02	2215-02	地域密着型教育広報事業		学校教育部学校教育課
		0501-03	2215-06	あいさつふれあい推進事業		学校教育部学校教育課
		0501-04	2215-03	保・幼・小中一貫教育事業	主	学校教育部学校教育課
		0501-06	2215-05	家庭の学びと地域の絆推進事業		生涯学習部生涯学習課
		0501-07	2312-05	まちかど美術館推進事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0501-08	2215-16	かぞ子ども大学事業		こども局子育て支援課
		0501-09	2215-08	通学路安全対策事業		学校教育部学校教育課
		0501-21	2211-18	中学生夢創造チャレンジ事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0501-22	2511-04	人権教育推進事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
		0501-23	2513-03	集会所管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
	02子どもの健やかな成長の支援					
	03青少年の健全育成の推進					
		0503-01	2215-17	二十歳の集い開催事業		生涯学習部生涯学習課
		0503-02	2215-07	青少年健全育成事業		生涯学習部生涯学習課
06生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります						
	01生涯学習活動の推進					
		0601-02	2311-02	生涯学習推進計画進行管理事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-03	2311-06	生涯学習管理事業		生涯学習部生涯学習課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0601-04	2311-03	生涯学習きっかけづくり支援事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-05	2311-04	市民学習カレッジ事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-06	2311-05	シニアいきいき大学事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-07	2311-09	文化・学習センター管理運営事業		生涯学習部文化・学習センター
		0601-08	2311-13	加須未来館管理運営事業		生涯学習部文化・学習センター
		0601-09	99111-00	公民館施設整備事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-10	99111-00	公民館管理運営事業		生涯学習部生涯学習課
		0601-12	2311-12	余裕教室等活用事業		生涯学習部生涯学習課
	02芸術文化の振興					
		0602-01	2312-03	文化・学習センター芸術文化振興事業		生涯学習部文化・学習センター
		0602-02	2312-01	地域文化振興事業		生涯学習部生涯学習課
		0602-03	2312-02	地区文化祭振興事業		生涯学習部生涯学習課
		0602-04	2312-04	偉人顕彰事業		生涯学習部生涯学習課
		0602-05	2312-05	まちかど美術館推進事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
		0602-06	2313-03	伝統文化継承支援事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
	03文化財の保存継承による郷土愛の醸成					
		0603-01	2313-04	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業		生涯学習部生涯学習課
		0603-02	2313-02	加須インターネット博物館管理運営事業		生涯学習部生涯学習課
		0603-03	2313-03	伝統文化継承支援事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0603-04	2313-01	文化財の保存と活用による地域活性化事業		生涯学習部生涯学習課
	04読書活動の推進					

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0604-03	2314-03	絵本との親子ふれあい事業		生涯学習部図書館課
		0604-04	2314-04	ブックトーク・おはなし会開催事業	主	生涯学習部図書館課
		0604-05	2314-05	図書資料整備充実事業		生涯学習部図書館課
		0604-06	2314-06	図書館管理運営事業		生涯学習部図書館課
		0604-07	2314-07	図書館まつり開催事業		生涯学習部図書館課
	05人権教育の推進					
		0605-04	2511-04	人権教育推進事業	主	生涯学習部生涯学習課
		0605-07	2513-03	集会所管理運営事業	再掲	生涯学習部生涯学習課
	07スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります					
	01スポーツ参画人口の拡大					
		0701-02	2411-02	スポーツ・レクリエーション推進計画進行管理事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-03	2411-03	スポーツ普及推進事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-04	2411-04	市民体育祭支援事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-05	2411-05	スポーツ教室等開催事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-06	2411-06	グラウンドゴルフ推進事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-07	2411-07	健康スポーツ推進事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-08	2211-07	学習指導改善研究事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0701-13	2411-13	スポーツ支援人材育成・活用事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-14	2215-01	学校いきいきステーション事業	再掲	学校教育部学校教育課
		0701-15	2411-15	総合型地域スポーツクラブ育成事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-16	2411-16	スポーツ施設整備事業		生涯学習部スポーツ振興課

基本 目標	施策	人づくり プラン コード	総合振 興計画 コード	事業名称	再掲 区分	担当課
		0701-17	2411-17	スポーツ施設管理運営事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-18	2411-18	学校体育施設開放管理運営事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-19	2411-19	民間・県施設活用事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-21	2411-21	スポーツ施設安全点検事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0701-22	2214-01	小学校管理運営事業	再掲	生涯学習部教育総務課
		0701-23	2214-02	中学校管理運営事業	再掲	生涯学習部教育総務課
	02スポーツを核とした交流人口の拡大					
		0702-01	2412-01	女子硬式野球振興事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0702-02	2412-02	クライミング普及事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0702-03	2412-03	自転車普及推進事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0702-05	2412-04	こいのぼりマラソン大会開催事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0702-06	2412-05	加須ふじの里駅伝大会支援事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0702-07	2412-06	全国大会等支援事業		生涯学習部スポーツ振興課
		0702-08	2412-07	オリンピック・パラリンピック関連事業		生涯学習部スポーツ振興課
体系外						
	—	2211-28	教育委員会運営事業		生涯学習部教育総務課	
	—	2211-29	教育委員会事務局管理事業		生涯学習部教育総務課	
	—	2211-02	加須市人づくりプラン進行管理事業		生涯学習部教育総務課	

4 令和3年度における新型コロナウイルス感染症の影響

令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルスの感染予防のため、各種行事・イベント等の開催方法の変更や中止をしたりするなど、多くの事業が影響を受けました。

年	月	緊急事態宣言ほか (埼玉県が対象となったもの)	市の対応等（主なもの）		
			小中学校、幼稚園	公共施設等	各種行事・イベント等
令和3年	4月		入学式・入園式（時間短縮等）	↑ 開館時間の短縮 ～10月24日	おはなし会（年度内中止）
	5月		運動会・体育祭の延期		騎西郷土史料展示室特別公開（中止）、リード KAZO クライミングカップ（12月、縮小開催へ）
	6月		宿泊を伴う学習（修学旅行・林間学校等）の延期		市民学習カレッジセミナー（一部中止）、「県展」かぞ（中止）、少年少女発明クラブ（中止）
	7月				東京 2020 オリンピック競技大会コロンビア共和国事前キャンプ（オンライン交流へ）
	8月	↑ 緊急事態宣言（3回目） 8月2日～9月30日		↑ 新規予約受付停止 8月2日～9月30日	小・中学生学級（中止）
	9月	↓	中学校の修学旅行の中止 運動会・体育祭（時間短縮、種目変更等） 幼稚園夏季休業日の延長（～12日まで）	↓	人権問題指導者研修会（9月～11月 書面開催）
	10月		サイエンススクール事業（中止）、小学校陸上競技会（中止）、小中学校音楽会（中止）	↓	騎西郷土史料展示室特別公開（中止）、人権問題講演会（縮小開催）、地域体育祭（中止）、図書館まつり（中止）
	11月				地域文化祭（中止）、地区(公民館)文化祭（中止）、郷土かるた大会（中止）
	12月				生涯学習フェスティバル（中止）、市民音楽祭（中止）、こいのぼりマラソン大会（中止）、全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会（無観客開催）、給食試食会（中止）、給食食堂（中止）
令和4年	1月	↑ まん延防止等重点措置 1月21日～3月21日	中学校のスキー学校中止（まん延防止重点措置期間）	↑ 開館時間の短縮 1月21日～3月21日	成人式（4施設 5会場分散開催）、シニアいきいき大学（2学部 2回開催後、8回残し中止）
	2月		生活発表会等の行事（中止、人数制限、時間短縮等）		少年の主張大会（中止）、騎西城跡出土品展（中止）、スポーツ功労者表彰授与式（式典中止）
	3月	↓	卒業式・卒園式（時間短縮等）	↓	ふじの里駅伝大会（中止）、全国高等学校女子硬式野球選抜大会（決勝戦を除き関係者のみ観戦可）、教育功労者表彰式（縮小開催）

5 各事業の点検評価

(1) 基本目標の達成度評価

総合振興計画における評価基準を準用し、各基本目標の達成度評価を行いました。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の予防のため、各種イベントの中止や実施方法の見直し等の影響を受けました。そのため、全97事業のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により適正な評価ができない38事業を「コロナによる影響」と区分し、これらを除いた59事業の達成度をもとに、基本目標の達成度評価を行いました。

【達成度評価の状況】

目標	達成度評価	区分	目標を達成	概ね達成	やや遅れている	大幅に遅れている	未着手	コロナによる影響 (A)	合計 (B)	評価数 (B－A)
基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します	概ね達成できた	事業数	10	9	3	1	0	2	25	23
		割合	43.5%	39.1%	13.0%	4.4%	0.0%	—	—	100.0%
基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します	やや達成できなかった	事業数	1	0	1	0	0	1	3	2
		割合	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	—	—	100.0%
基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します	目標どおり達成できた	事業数	2	3	0	0	0	0	5	5
		割合	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	100.0%
基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します	目標どおり達成できた	事業数	4	3	0	0	0	0	7	7
		割合	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	100.0%
基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します	目標どおり達成できた	事業数	1	4	0	0	0	5	10	5
		割合	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	100.0%

基本目標 6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります	目標どおり達成できた	事業数	5	3	0	0	0	16	24	8
		割合	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	100.0%
基本目標 7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります	目標どおり達成できた	事業数	4	3	0	0	0	13	20	7
		割合	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	100.0%
その他の教育事業	目標どおり達成できた	事業数	1	1	0	0	0	1	3	2
		割合	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	100.0%
合 計		事業数	28	26	4	1	0	38	97	59
		割合	47.4%	44.1%	6.8%	1.7%	0.0%	—	—	100.0%

※事業数は再掲を除く。 ※割合は「コロナによる影響」と区分した事業を除いて計算した数値。

【基本目標の達成度評価基準】

評価	達成度評価基準
目標どおり達成できた	基本目標を構成する全ての事業（取組）において達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」であった。
概ね達成できた	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が 80%以上であった。
やや達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が 80%未満であった。
達成できなかった	事業の達成度評価が「目標を達成」又は「概ね達成」となった事業数の割合が 50%未満であった。

【事業の達成度評価基準】

評価	達成度評価基準
目標を達成	当該年度に実施すべき取組みを予定通り、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 「効果が表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の 100 %以上に達し、当該年度の目標を達成した。
概ね達成	当該年度に実施すべき取組みを円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 「効果が概ね表れた」とは、成果指標の実績値が目標値の 80%以上に達したものをいう。 ただし、「指標の性質上、最低限達成すべき目標値を達成していない」あるいは「当該実績値が、過去 2 年分の実績と比較し、平均的水準に満たない」など、指標の実績値が目標値の 80%以上に達したとしても、「効果が概ね表れた」とは言い難い場合、下位の評価とすることを妨げるものではない。
やや遅れている	当該年度に実施すべき取組みを行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 「効果が小さかった」とは、成果指標の実績値が目標値の 80%未満となったものをいう。
大幅に遅れている	何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 「効果が表れなかった」とは、成果指標の実績値が目標値の 50%未満となったものをいう。
未着手	何らかの理由により、事業の着手が出来なかった。
コロナによる影響	新型コロナウイルス感染症の影響により適正な評価ができない事業。

(2) 基本目標の取組状況

それぞれの基本目標における具体的な取組状況は、以下のとおりです。

基本目標１：自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

G I G Aスクール構想の実現に向けた取組として、令和２年度中に市立各小・中学校全学年の児童生徒に１人１台の学習系端末の配置が完了したことを受け、その積極的な活用に努めました。I C T活用推進校として４つの小・中学校に研究指定を行い、実践研究に基づく成果や課題を共有し、より効果的な活用を図りました。９月の緊急事態宣言下においては、全小・中学校で全面オンラインでの教育活動を実践し、子供たちへの学習を提供しました。

思考力・判断力・表現力の育成を目指した「加須市チャレンジシート」の全小・中学校への教材の提供、「加須まなびTime」の実施による学びの機会の提供を行うほか、各校の学力向上に係る代表者で組織する加須市教育課程検討委員会を定期的に行い、加須市の現状を踏まえた学力向上の取組に係る協議を行いました。

人的な支援としては、教育活動補助員の配置による少人数指導やチームティーチングでの授業展開、学力向上を図るための非常勤講師によるきめ細かな学習指導を行いました。また、小学校への外国語活動指導助手（A F T）の配置、中学校への外国語指導助手（A L T）による英語教育の充実を図りました。さらに、障がい児介助員を適切に配置し、支援を必要とする児童生徒一人一人にきめ細かな支援を行いました。

そのほかにも、「加須市防災ノート」を活用した防災学習の充実など、子供たちの自ら学ぶ力を育むための多様な学びを実現する資料や環境整備を行いました。

市立幼稚園では、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、個に応じた環境づくりを工夫することにより、幼児の主体的な遊びを十分に確保し、小学校以降の学習の基盤を培うことに努めました。

さらに、保育の延長が必要な幼児に対して、預かり保育を実施し、子育て支援を行いました。幼児たちが家庭的な雰囲気の中で積極的に友達と関わり、安定した気持ちで園生活を楽しめるような場を提供しました。

基本目標２：豊かな心を育む取組を推進します

各小・中学校において、いじめや不登校の未然防止のため、校内での指導・支援体制を充実させるとともに、家庭への啓発及び地域と連携を深めるために、加須市立教育センターを核とした教育相談活動等を展開しました。教育センターには、相談員やスクールカウンセラーを配置するとともに、不登校児童生徒の生活改善を図り学校復帰を目指すための「学習室ピア」を運営し、一人一人の

ニーズに応えるための環境づくりを行いました。

人権教育の充実に向けては、「学校人権教育計画訪問」の実施による教職員の人権感覚の向上、「加須市初任者研修人権研修」及び「加須市立教育センター人権研修（オンライン）」による若手の教職員への研修の充実、「学校人権教育指導資料48集の発刊」による授業実践の共有化を行いました。これを、各教員が日常の教育活動に生かし、子供たちの豊かな心の育成につなげました。

基本目標3：安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

学校給食については、地場産野菜を積極的に活用しながら、子どもたちに栄養バランスに配慮した安全安心な給食を提供しました。

令和3年度は、小・中学校は分散登校、幼稚園は夏季休業が延長となったことから9月に学校給食を8日停止しました。また、新型コロナウイルス感染症で学級・学校閉鎖となった場合等、特例措置として、1月から3月分の給食費を喫食した分のみの日割り対応としました。

給食費については、滞納している家庭に、早期納付を働きかけた結果、現年度分の収納率は99.98%となりました。

学校給食センターの老朽化や運営状況、児童生徒数の推移等を考慮し、令和5年度2学期から北川辺学校給食センターを廃止し、加須学校給食センターと騎西学校給食センターの2センター体制とします。

学校保健安全法に基づく児童生徒の健康診断（内科・歯科健診、尿検査、心電図検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査）等について、コロナ禍における留意事項を徹底したうえで、計画的に実施しました。また、教職員については、健康診断、胃がん・大腸がん検診の実施を行ったことに加え、ストレスチェックの実施により、心身の健康状態についての管理を行いました。

基本目標4：質の高い教育のための環境づくりを推進します

新型コロナウイルス感染症対策及び教育環境の充実のため、小・中学校トイレの洋式化改修工事を進めました。

北川辺中学校の特別教室棟1階トイレについては、トイレの洋式化や床の乾式化、手洗いの自動水栓化など全面的な改修を行い衛生環境の改善を図りました。また、不動岡小学校の安全で快適な教育環境を確保するため、老朽化した校舎の大規模改造工事設計業務委託を実施しました。

学校ICT環境の適正な管理として、児童生徒1人1台端末の有効活用に向け、ベネッセのICT支援員を配置し、全小・中学校に定期的に訪問する中で、授業をはじめとする教育活動への積極的な利用を推進しました。

ICT活用推進校での先行研究等からあがった課題等を集約し、今後の改善に向けて必要なものについては検討を継続しています。市立幼稚園では、コロナ禍においても、幼児が主体的に活動し、多様な体験ができるよう、幼児の興味・関心を生かした遊びの環

境づくりに努めました。また、教育方針や幼稚園教育への理解を深めていただくために、チラシやHPを利用して、保護者や地域に園や幼児の様子を発信することができました。

さらに、幼稚園業務補助員を配置し、園業務の補助及び特別な配慮を必要とする幼児への支援を行い、幼児一人一人の発達の特性に応じた指導を行いました。

基本目標５：家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

家族・地域の絆づくりの一層の推進のための「あいさつ運動」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が中止となりました。また、「家庭の教育力」の向上を図るため、家庭教育学級・子育て学級なども、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業回数を減らして開催し、家庭教育を推進しました。

全幼稚園及び全小・中学校に、「ふれあい推進長（学校応援コーディネーター）」を委嘱し、ボランティアからなる「幼稚園応援団・学校応援団」を組織し、コロナ禍における留意事項を踏まえたうえで、可能な限りの地域との連携を図りました。令和３年度は、合計で３，８８８名の応援団の方に協力をいただきました。

保・幼・小中一貫での活動の充実を図り、子供たちに豊かな人間性や社会性を育むための教育を推進しました。新型コロナの影響を受け、集合型での実施ができない場面が多かったため、規模や対象を制限したり、オンラインを活用する中で、各園・校が工夫を凝らして実施できる活動を行いました。

基本目標６：生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

加須市生涯学習市民企画委員や生涯学習推進員と連携し、生涯学習セミナーや市民学習カレッジを企画・募集を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より一部中止としました。また、その学習成果を発表・展示する、かぞ生涯学習フェスティバル、地域文化祭・地区文化祭及び市民音楽祭も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、中止としました。さらに、加須市シニアいきいき大学は、平成国際大学との協議し、７月開催予定を延期し、１月に通常の半分の講義数（１０回）で開催しましたが、まん延防止等重点措置の発令を受け中止となりました。

そのような中、芸術文化イベントである「斎藤与里展」については感染症対策を講じて開催し、市民が郷土の偉人への愛着や誇りを有することに取り組み、芸術・文化の向上を図りました。

文化・学習センターでは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら各種コンサート等の自主公演事業やミュージカル等の貸館事業を実施し、可能な限り市民が芸術文化に触れられる機会を作るよう努めました。一部事業は新型コロナウイルス感

染拡大防止のため中止、または来年度以降に延期となりました。

図書館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、親子講座・ボランティア育成講座・図書館まつり・定例おはなし会を中止しました。このほか、緊急事態宣言中の入館者カードの記入のお願いや利用時間の短縮を実施し、飛沫対策パーティーの追加導入、図書除菌ボックス・非接触型体温計・空気清浄機の設置などの安全対策を講じ、安心して利用できる環境づくりに努めました。

そのような中、市民のニーズに応え、一般書や児童書の購入や郷土資料の受入を実施し、蔵書の充実を図ることができました。

さらに、小学生向けブックリストの新規作成や子育て配信メールを活用した子育てに役立つ本の情報を提供するなど、子どもが本にふれあう機会を設け、子どもの読書活動の推進を図りました。

基本目標7：スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

新型コロナウイルスの影響によりスポーツ施設における利用時間の短縮や三密対策などが必要となり、スポーツやレクリエーション活動が制限されるとともに感染の不安や感染対策の徹底が難しいことから、加須こいのぼりマラソン大会、加須ふじの里駅伝大会、市民体育祭など多くのスポーツイベントや競技団体が主催する大会等が中止となりました。

そのような中、感染対策を徹底し東京2020オリンピック聖火リレーや東京2020オリンピック競技大会におけるコロンビア共和国のホストタウンとして事前キャンプを受け入れるなど、東京2020大会をきっかけとしたスポーツ振興や国際交流に取り組みました。特に同大会において、日本人選手の活躍が目覚ましかったスケートボード競技については、加須スケートパークで初心者スケートボード教室の開催やボードスポーツ団体の主催するスケートボードスクールの開催を支援し推進を図りました。

また、スポーツクライミングをはじめとする各種スポーツ教室やグラウンド・ゴルフ大会、ウォーキング大会などを実施し、市民の健康の保持・増進や体力の維持向上に努めました。

さらには、第23回全国高等学校女子硬式野球選抜大会、第12回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会、チームケンズカップ紅葉チャレンジトライアスロン・デュアスロンフェスティバルin加須大会、第59回全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会などの全国規模の大会が感染対策を徹底して開催され、全国から多くの若者が集うまちづくりを推進し、スポーツを核とした交流人口の拡大に努めました。

今後におきましても、本市を拠点として活動している「埼玉西武ライオンズ・レディース」や全日本女子野球連盟などの関係団体と連携し、「女子野球タウン」認定市として女子野球を更に推進し地域活性化を図り、「女子野球の聖地」の定着に向けて進めてまいります。

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

施策1 幼児教育の推進

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
1	2131-16	幼稚園預 かり保育 事業	仕事など家庭の事情によ り、保育の延長が必要な幼児 に対して、公立幼稚園で預か り保育を実施することによ り、子育てを支援する。	・意向調査 ・通常保育時間外における 幼児の保育 ・対象となる公立幼稚園8 園で預かり保育を実施	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	預かり保育受入率 (%)							引き続き、必要に応じて預かり 保育を実施し、子育て支援につな げる。 令和4年度は、利用希望のあつ た9園で実施する。
						年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
	目標		100			100	100	100	100					
	実績	100	100											
	保護者の就労等により利用希望のあった8園で、希望者全員（延 べ8,226人）の預かり保育を実施し、子育て支援を行った。													
	0101-02	こども保 育課	保護者の就労・入通院や家 族の看護・介護等により、通 常の保育終了の午後3時から4 時30分までの1.5時間、定期 的、または一時・緊急時に保 育を必要とする幼児を対象に 保育を行う。子育てのための 施設等利用給付の認定を受け ると無償となる（償還払 い）。 定期利用 月額2,200円 一時・緊急 日額200円			予算額	13,038千円							
決算額				6,722千円										
執行率				52%										

施策2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等	
2	2211-05	少人数学級推進事業	児童生徒の学力を向上させるために、非常勤講師の配置による学習形態の工夫を図り、児童生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな学習指導の実現を目指す。	・小学校第4学年～第6学年、中学校第2学年及び第3学年に非常勤講師（教育活動補助員）を配置 ・学級担任とのチームティーチングや少人数指導により、個に応じた学習指導や生活指導を実施	1・目標を達成	指標(単位) 教育活動補助員の配置状況 (%)	小学校第5学年～第6学年、中学校第2学年及び第3学年に非常勤講師（教育活動補助員）を配置する 学級担任とのチームティーチングや少人数指導により、個に応じた学習指導や生活指導を実施し、学力向上を図る 児童生徒と関わる時間の増加による個別学習の推進、心の安定を図り、生徒指導を推進する	
	0102-01	学校教育課	一学級の人数が多くなる学年に非常勤講師を配置し、チームティーチングや少人数指導による授業を展開することで、個に応じたきめ細かな学習指導、生活指導を行い、学力向上や心の教育の充実を図る。	・児童生徒と関わる時間の増加による個別学習の推進 ・「教育活動補助員配置計画」「教育活動補助員成果と課題」の作成・提出		年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)		
						目標		100 100 100 100 100
						実績		100 100
小学校第4学年～第6学年、中学校第2学年及び第3学年において、1学級内の人数が多い学級（小学校3～6年：36人以上、中学校2～3年：39人以上）に教育活動補助員を配置することができた。 実績：小学校15学年、計15学年 また、教育活動補助員を配置し、チームティーチングや少人数指導を行うことにより、個に応じた学習指導や生活指導の充実を図ることができたため、「目標を達成」とした。								
3	2211-11	学力アップ事業	児童生徒の学力向上を図るため、児童生徒の実態に応じたきめ細かな学習指導の展開を目指す。	・学力向上を図るための非常勤講師の配置 ・中学生学力アップ教室「加須まなびTime」の実施	2・概ね達成	指標(単位) 埼玉県学力学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（児童） (%)	前年度の学力調査の結果や学校規模等に応じて非常勤講師を効果的に配置し、一人一人の児童生徒に対して個に応じたきめ細やかな学習指導を一層展開できるようにする。 ICT機器を活用した学力向上の取組を検討し、実施する。 「加須まなびTime」を実施し、中学生の学力向上を図る。	
	0102-02	学校教育課	きめ細やかな学習指導を実施するための非常勤講師の配置する。 中学生を対象に、土日を活用した中学生学力アップ教室「加須まなびTime」を実施し、学力の向上を図る。	・中学生学力アップ教室「加須まなびTime」の実施		年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)		
						目標		100 100 100 101 101
						実績		98
埼玉県学力学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（生徒） (%)								
年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)								
目標 100 100 100 101 101								
実績 96								
学力向上を図るための非常勤講師を小学校4校に配置した。 新型コロナウイルス感染症の影響で、「加須まなびTime」の実施が、予定の1／3程度にとどまった。 4年度の全国及び県学力学習状況調査に向け、各校に具体的な取組計画「学力向上プラン」を作成させ、実践を促すとともに、「加須チャレンジシート」の確実な活用を促した。								
				予算額 4,585千円				
				決算額 2,968千円				
				執行率 65%				

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
4	2211-12	小学校英語教育推進事業	外国語活動について、体験を通して言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	・5・6年生に対して、年間70時間の外国語の授業を、3～4年生に対して年間35時間の外国語活動の授業を、担任と外国語活動指導助手（AFT）とのチームティーチングで実施 ・英語教育研究員による学校訪問での授業支援と指導、研修会による授業力の向上 ・小・中学校の連携を図るための研修会の実施	2・概ね達成	指標(単位)	小学校外国語活動の目標をおおむね達成した5、6年生児童の割合（令和2年度：小学校外国語科の目標を十分達成した5、6年生の児童の割合） (%)	英語教育研究員が小学校を学期に1度訪問し、担任や外国語活動指導助手への授業支援や指導を行う。 研修会をとおして、指導力の向上や小・中学校の一層の連携を図る。 3、4年生の外国語活動の授業においては、担任と外国語活動指導助手とのTTを計画的に実施し、年間授業時数35時間を確保できるようにする。 5、6年生の外国語の授業においては、担任と外国語活動指導助手とのTTを計画的に実施し、年間授業時数70時間を確保できるようにする。					
		年度	2年度			3年度（決算）	4年度		5年度	6年度	7年度（目標年）		
		目標				50	60		60	60	60		
		実績	44			45							
0102-03	学校教育課	学校教育課	全ての市立小学校に外国語活動指導助手を配置する。 英語教育研究員が、全ての市立小学校を計画的に訪問し、担任や外国語指導助手の授業支援や指導を行う。 小学校と中学校の連携のための研修会や授業力向上のための研修会を行う。	予算額 20,081千円 決算額 18,240千円 執行率 91%	指標(単位)	外国語活動が楽しいと感じている児童の割合（平成28年度～令和元年度は5、6年生、令和2年度以降は3、4年生） (%)							
						年度		2年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）
						目標			100	100	100	100	100
						実績		92	91				
担任と外国語活動指導助手とのチームティーチングの充実により、外国語活動の目標をおおむね達成している児童の割合や、外国語活動が楽しいと感じている児童の割合が、指標の計画のほぼ90%に達している。													
5	2211-13	中学校英語教育推進事業	外国語について、言語や文化に対する理解を深め、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。	・英語教育研究員の計画的な訪問による、英語教員や外国語指導助手の授業支援や指導 ・外国語指導助手（ALT）の授業力向上のための研修会の実施 ・イングリッシュサマーキャンプは新型コロナウイルス感染症防止のため、中止 ・英語教員の授業力向上のための研修会の実施 ・小学校と中学校の連携を図るための研修会の実施	3・やや遅れている	指標(単位)	英語検定3級程度の英語力を有する中3生徒の割合 (%)	英語教育研究員が全ての市立中学校を学期に1度訪問し、英語教員と外国語指導助手の授業支援や指導を行って授業力の向上を図る。 授業力向上のために、外国語指導助手の研修会を月2回程度行う。 英語教員の授業力向上のための研修会、小学校と中学校の連携を図るための研修会の一層の充実を図る。 英語に興味関心が高い生徒をさらに伸ばすため、ブリティッシュヒルズを活用したイングリッシュサマーキャンプを実施する。					
		年度	2年度			3年度（決算）	4年度		5年度	6年度	7年度（目標年）		
		目標				50	50		50	50	50		
		実績	42			33							
0102-04	学校教育課	学校教育課	生徒の英語能力の基礎を養うため、全ての市立中学校に、外国語指導助手を配置する。 英語教育研究員が、全ての市立中学校を計画的に訪問し、英語教員や外国語指導助手の授業支援や指導を行う。 外国語指導助手の授業力向上のための研修会を定期的に行う。 小学校と中学校の連携のための研修会や授業力向上のための研修会を行う。	予算額 23,809千円 決算額 23,760千円 執行率 100%	英語教育研究員の訪問により、英語教員と外国語指導助手のチームティーチングによる授業が積極的に展開されている。 外国語指導助手の研修会を通して、担当教員との連携が円滑になった。								

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
6	2211-20	サイエンス スクール事業	児童の科学や理科への興味・関心を高めるため、加須未来館を活用した理科学習の充実を目指す。	・小学4年生を対象として加須未来館を活用した理科学習の実施 (プラネタリウム、望遠鏡等の活用)	6・コロナによる影響	指標(単位) 未来館学習による理科に関する興味・関心の向上 (%)	今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じたうえで、サイエンススクールを実施する予定である。
						年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)	
						目標  95 95 95 95 95	
						実績 - 0	
7	0102-05	学校教育課	小学校第4学年の全児童を対象に、加須未来館においてプラネタリウムや望遠鏡等を活用した理科学習を実施する。 加須未来館での学習を実施するために、児童が移動するためのバスを措置する。	予算額 1,210千円 決算額 0円 執行率 0%	2・概ね達成	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、サイエンススクールを中止としたため。	
8	2211-30	小学校教材用備品整備事業	理科教育に関する指導内容に沿った備品を整備し、理科教育の振興を図る。	・理科実験備品の購入 ・理科教育設備の整備	2・概ね達成	指標(単位) 小学校理科備品の整備率 (%)	引き続き、理科備品の整備率の低い学校に重点を置きながら、備品の整備を進め、加須市全体の理科備品の質の向上を図る。
						年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)	
						目標  77.4 77.7 78.0 78.3 78.6	
						実績 76.9 76.6	
9	0102-06	教育総務課	各校の理科備品の整備状況を踏まえ、理科教育設備の充実に必要な備品を整備する。	予算額 2,018千円 決算額 1,970千円 執行率 98%	2・概ね達成	小学校6校が備品の使用の可否を精査して備品を整理・破棄したため、実績値が目標値を下回ったが、整備率の低い騎西・北川辺地域に重点を置きながら、各小学校に補助金を利用して、各校の要望どおり備品整備を行った。	
10	2211-31	中学校教材用備品整備事業	理科教育に関する指導内容に沿った備品を整備し、理科教育の振興を図る。	・理科実験備品の購入 ・理科教育設備の整備	2・概ね達成	指標(単位) 中学校理科備品の整備率 (%)	引き続き、理科備品の整備率の低い学校に重点を置きながら、備品の整備を進め、加須市全体の理科備品の質の向上を図る。
						年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)	
						目標  83.9 84.2 84.5 84.8 85.1	
						実績 80.5 83.4	
11	0102-07	教育総務課	各校の理科備品の整備状況を踏まえ、理科教育設備の充実に必要な備品を整備する。	予算額 1,518千円 決算額 1,489千円 執行率 98%	2・概ね達成	加須東中学校が備品の使用の可否を精査して備品を整理・破棄したため、実績値が目標値を下回ったが、整備率の低い騎西中、北川辺中、大利根中に重点を置きながら、各中学校に補助金を利用して各校の要望どおり備品整備を行った。	

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実施内容		評価	成果・目標指標又は実施内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の実施内容等
9	2211-32	生徒派遣 援助事業	明るく豊かで活力に満ちた 生徒の健全な育成を目指すた めに、中学校における各種ス ポーツ及び文化活動の振興を 図る。	・全国大会等生徒派遣費補 助金		2・ 概ね達 成	指標(単位)	生徒派遣費補助金の交付件数 (台)						引き続き、市内中学校に制度の 周知を行い、補助金の活用を促す とともに、加須市立小・中学校児 童生徒派遣費補助金交付要綱に基 づき適正な補助金の交付を行う。
		年度					2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
	目標		12				12	12	12	12				
	実績	0	9											
	各学校に制度を周知し、全国大会等に出場する生徒への派遣費補 助を適正に行うことができた。 令和3年度実績…9件（18人）、435,649円													
	0102-08	教育総務 課	全国大会等に出場する選手 の派遣費補助を行う。	予算額	800千円									
決算額				436千円										
執行率				55%										

施策3 教職員の資質能力の向上

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等				
10	2211-08	学校訪問 指導事業	幼児、児童生徒に生きる力を育むために、市立幼稚園及び小・中学校への訪問指導を行い、教職員の指導力の向上、学校の教育力の向上を目指す。	・計画訪問や要請訪問の実施 ・公開授業や研究授業、公開保育、研究保育に対する指導助言 ・教育活動の諸課題に対する指導助言 ・諸表簿等の適切な管理、地域密着型教育の推進についての指導助言	3・やや遅れている	指標(単位)	埼玉県学力・学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（児童生徒）（％）	学校訪問は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、訪問時間を短くするなどの工夫を行ったため、全クラスの授業を見ることができない学校もあった。今後は感染状況を見極めながら、従来の日程に戻せるようにしていきたい。			
		年度	2年度			3年度（決算）	4年度		5年度	6年度	7年度（目標年）
		目標				101	100		100	101	101
		実績	－			97					
	0103-01	学校教育課	市立幼稚園及び小・中学校への計画訪問及び要請訪問を行い、市内における教育実践上の諸課題について管理上の課題の解決を図る。			指標(単位)	学校訪問回数（回）				
		年度	2年度	3年度（決算）		4年度	5年度		6年度	7年度（目標年）	
		目標		215		200	200		200	200	
		実績	164	125							
		埼玉県学力・学習状況調査の結果は、すべての学年で県平均より下回り、目標を達成することができなかった。 学校訪問は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、訪問時間を短くするなどの工夫をしながら実施したが、訪問自体が中止となることもあり、目標値を大きく下回ったことから、やや遅れていると評価した。									
		予算額	22千円								
決算額	18千円										
執行率	82％										
11	2211-07	学習指導 改善研究 事業	子どもたちに知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育成するために、市立幼稚園及び小・中学校の充実した教育活動の実践を目指す。	・小学校4校、中学校1校に研究を委嘱 ・幼稚園4園に公開保育を指定 ・学力・体力・規範意識の向上を図るために教育課程検討委員会を開催 ・学習指導法の改善のための教科等への支援を実施 ・加須市教育研究会、加須市小・中学校児童生徒体力向上推進委員会への支援	2・概ね達成	指標(単位)	埼玉県学力学習状況調査の県平均正答率に対する市平均正答率の割合（児童生徒）（％）	本市における教育の今日的な課題に対応する実践的な研究となるよう、「学力向上」や「人権教育」に関わる研究を引き続き委嘱する。 教育課程検討委員会を年4回開催し、県及び全国学力調査結果分析に基づいた授業改善の方法や次年度以降の教育課程編成の情報交換を行う。			
		年度	2年度			3年度（決算）	4年度		5年度	6年度	7年度（目標年）
		目標				100	100		100	101	101
		実績	－			97					
	0103-02	学校教育課	充実した教育活動の実践を図るために市立幼稚園及び小・中学校に公開保育の指定や研究委嘱を行う。 また、各教科等の充実を図るための支援を行うとともに、教育課程検討委員会を設置し、教育活動全体の改善を図る。			指標(単位)	体力テストの5段階絶対評価で上位3ランク（A+B+C）の児童生徒の割合（％）				
		年度	2年度	3年度（決算）		4年度	5年度		6年度	7年度（目標年）	
		目標		82		82	82		82	82	
		実績	－	82							
		事業の推進を通して、児童生徒の学習習慣の確立が図られている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、調査は未実施だが、各校に加須市チャレンジシート等を提供し、目標の達成を図った。令和3年度は目標値に迫りながらも、市の平均正答率が未だに県・全国を下回っている。									
		予算額	7,221千円								
決算額	5,467千円										
執行率	76％										

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
12	2211-15	教師用教科書・指導書措置事業	小・中学校の公教育としての水準の維持を図るために、教科書、指導書を措置し、児童生徒の基礎学力の確実な定着を目指す。	・小・中学校に学級の増設や教員の増員が必要となる教師用教科書及び指導書の措置 ・「特別の教科 道徳」小学校教育用教科書を採択	1・目標を達成	指標(単位)	学級増、教員増の学校へ教師用教科書及び指導書を配布した割合 (%)	学級の増設や教員の増員が必要となる教師用教科書及び指導書の措置を行う。					
						年度	2年度		3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)
						目標			100	100	100	100	100
						実績	100		100				
0103-03	学校教育課	学級の増設及び教員の増員があった小・中学校を対象に、4月(但し、後期は9月)に教師用教科書及び指導書を購入し、配布する。	予算額	20,640千円	決算額	20,215千円	執行率	98%	各小学校へ「特別の教科 道徳」の教師用教科書及び指導書を措置した。 学級の増設や教員の増員が必要となった教師用教科書及び指導書の措置した。				
13	2211-16	社会科副読本資料作成事業	郷土「加須市」を理解し、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、郷土「加須市」を愛する児童の育成を目指す。	・令和5年度から使用する社会科副読本を編集するための編集委員会を組織し、編集の方針や取材方法を決定した。	2・概ね達成	指標(単位)	加須市に対する理解が深まった児童の割合 (%)	令和4年度は、社会科副読本の一部改訂を行う。児童はもちろん、先生方が指導しやすいよう改訂を進めていく。					
						年度	2年度		3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)
						目標			80	80	80	80	80
						実績	73		68				
0103-04	学校教育課	3年に一度の周期で小学校第3・4学年用社会科副読本の改訂を行う。 また、改訂後は、指導の手引き、評価テスト、ワークプリントを作成し、市立各小学校へ配布して、その活用を図る。	予算額	1,134千円	決算額	1,113千円	執行率	98%	令和2年度と比較し、評価テストの割合は低下しているが、目標達成に向けての発展段階のため。				

施策4 ICTを活用した教育の推進

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等							
14	2211-09	学校ICT教育活用事業	児童生徒の確かな学力の向上と情報活用能力の育成のために、情報教育環境を活用し、わかる・楽しい授業の実現を目指す。	・教育系コンピュータ及び校務系コンピュータのリース契約更改はなし。 ・各校に消耗品費、修繕費を措置。 ・GIGAスクール構想の実現に向けた1人1台端末と校内情報通信ネットワーク整備の実施。	2・概ね達成	指標(単位)	ICTを活用して効果的な指導ができる教員の割合 (%)	ICT機器の更なる有効活用のため、日常的な学習用端末の持ち帰りの実施 学習用端末の利用規程の改訂 情報セキュリティポリシーの作成						
						年度	2年度		3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
						目標			95	100	100	100	100	
						実績	79		84					
	0104-01	学校教育課	児童生徒の確かな学力の向上と情報活用能力の育成のために、教育ソフトの活用に関する研究や情報教育環境活用のための教員研修を行う。 校務系コンピュータの配備により、教員の校務支援を行う。 教育系コンピュータをセンターサーバに接続し、一括管理する。 校務系コンピュータによる情報の一括管理を行う。			指標(単位)	ICTを活用して情報活用能力を発揮できる児童生徒の割合 (%)							
						年度	2年度		3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
						目標			65 70	70 75	75 80	80 85	85 90	
						実績	-		97 94					
						ICT活用推進校の取組を全校に周知し、各校でのICT活用能力を向上させることができた。また、9月の市内一斉休校に伴い、緊急時における端末の持ち帰りにより、学習用端末を使用した家庭学習の充実が図られたため。								
						予算額	141,351千円							
						決算額	133,515千円							
						執行率	94%							

施策5 特別支援教育の推進

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実施内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
15	2211-14	特別支援 教育推進 事業	児童生徒の教育的ニーズに 対応するため、介助を必要と する児童生徒の就学支援体制 の充実を図る。	・小・中学校障がい児介助 員の配置 ・ことばの教室の運営 ・発達障害・情緒障害通級 指導教室の運営 ・障がい児介助員の質的向 上を図るための研修実施 ・年度内に行う予定の終了 検査を次年度に繰り越した	2・ 概 ね 達 成	指標(単位)	ことばの教室（構音障害）修了者の割合 (%)							就学時健康診断において、市立 各小学校にて、学校における特別 支援教育について情報提供を行い 特別支援教育に関する理解を深め る。 言語聴覚士による支援を仰ぐ。
						年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
						目標		95	95	95	95	95		
						実績	62	83						
						年度当初開始児童数 63名（構音障害）5名（吃音）5名（難 聴） 6年生卒業のため終了 6名（構音障害） 正しく発音できるようになり修了52名（構音障害） 52（修了者）÷63＝82.5								
16	0105-01	学校教育 課	特別支援学級や通常学級で 学ぶ児童生徒の教育活動を支 援する障がい児介助員を配置 する。 難聴・言語障害通級指導教 室（ことばの教室）を運営す る。 発達障害・情緒障害通級指 導教室を運営する。	予算額 75,650千円 決算額 69,081千円 執行率 91%	2・ 概 ね 達 成									
16	2211-25	小学校特 別支援教 育就学奨 励事業	特別支援学級に在籍する児 童及び学校教育法施行令第2 2条の3に規定する障害の程 度に該当する児童の保護者の ために、通学に係る費用につ いて必要な補助をし、経済的 負担の軽減を目指す。	・支弁区分（3段階）の認 定 ・就学奨励費の支給（年3 回） ・支給額算出のための給食 欠食状況や校外活動への参 加状況等の調査を実施	1・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	就学奨励費の支給率 (%)							特別支援学級に対する児童の保 護者に対して、制度の周知を徹底 する。 制度の対象児童については、増 加傾向である。
						年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
						目標		100	100	100	100	100		
						実績	100	100						
						特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、各学校の協力を得 ながら制度の周知を行った。 保護者及び学校から提出された資料に基づき、就学奨励費を計算 し支給することで、学校生活に係る経費について保護者の経済的負 担の軽減を図った。								
16	0105-02	学校教育 課	特別支援学級へ在籍する児 童及び学校教育法施行令第2 2条の3に規定する障害の程 度に該当する児童の保護者 に対し、所得に応じて、学用品 費、新入学用品費、校外活動 費、修学旅行費、学校給食費 等を国の基準により支給す る。	予算額 5,467千円 決算額 4,170千円 執行率 76%	1・ 目 標 を 達 成									

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実施内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
17	2211-26	中学校特 別支援教 育就学奨 励事業	特別支援学級に在籍する生徒及び学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者のために、通学に係る費用について必要な補助をし、経済的負担の軽減を目指す。	・支弁区分(3段階)の認定 ・就学奨励費の支給(年3回) ・支給額算出のための給食欠食状況や校外活動への参加状況等の調査を実施	1・ 目標を達成	指標(単位)	就学奨励費の支給率 (%)						特別支援学級に対する児童の保護者に対して、制度の周知を徹底する。 制度の対象児童については、増加傾向である。
						年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
						目標		100	100	100	100	100	
						実績	100	100					
	0105-03	学校教育課	特別支援学級へ在籍する生徒及び学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者に対し、所得に応じて、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等を国の基準により支給する。	予算額 3,701千円 決算額 1,536千円 執行率 42%		特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対し、各学校の協力を得ながら制度の周知を行った。 保護者及び学校から提出された資料に基づき、就学奨励費を計算し支給することで、学校生活に係る経費について保護者の経済的負担の軽減を図った。							

施策6 学びを支える経済支援

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
18	2211-21	小学校就学援助事業	小学校6年間の普通教育を保障し、義務教育の円滑な実施のため、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に、必要な援助をし、経済的負担の軽減を目指す。	・準要保護児童の世帯の認定 ・就学援助費の支給（年3回） ・支給額算出のための給食欠食状況や校外活動への参加状況等の調査を実施 ・新入学児童生徒学用品費の入学前支給を実施	1・目標を達成	指標(単位)	就学援助費の支給率 (%)						就学援助システムを利用し、迅速で正確な事務処理に努めた。
		年度	2年度			3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)			
		目標				100	100	100	100	100			
		実績	100			100							
		全校児童生徒への案内チラシの配布、当該年度の受給者への個別の案内通知等、制度の周知を図る事により、援助を必要とする保護者への支援ができた。 令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年よりも宿泊を伴う行事に係る費用についての支給が減少したため、予算の執行率が低くなった。 ・宿泊を伴う行事に係る費用…修学旅行等の中止											
0106-01	学校教育課	要保護児童の保護者に対して、修学旅行費及び医療費の就学援助費を支給する。 準要保護児童の保護者に学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、医療費、PTA会費、児童会費等の就学援助費を支給する。 認定基準は、生活保護最低生活費認定基準の見直しによる影響がないように基準を設定する。	予算額	45,443千円	決算額	34,661千円	執行率	76%					
19	2211-23	中学校就学援助事業	中学校3年間の普通教育を保障し、義務教育の円滑な実施のため、経済的理由によって就学が困難と認められる生徒の保護者に、必要な援助をし、経済的負担の軽減を目指す。	・準要保護生徒の世帯の認定 ・就学援助費の支給（年3回） ・支給額算出のための給食欠食状況や校外活動への参加状況等の調査を実施 ・新入学児童生徒学用品費の入学前支給を実施	1・目標を達成	指標(単位)	就学援助費の支給率 (%)						就学援助システムを利用し、迅速で正確な事務処理に努めた。
		年度	2年度			3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)			
		目標				100	100	100	100	100			
		実績	100			100							
		全校児童生徒への案内チラシの配布、当該年度の受給者への個別の案内通知等、制度の周知を図る事により、援助を必要とする保護者への支援ができた。 令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年よりも宿泊を伴う行事に係る費用についての支給が減少したため、予算の執行率が低くなった。 ・宿泊を伴う行事に係る費用…修学旅行等の中止											
0106-02	学校教育課	要保護生徒の保護者に対して、修学旅行費、医療費の就学援助費を支給する。 準要保護生徒の保護者に学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、医療費、PTA会費、生徒会費等の就学援助費を支給する。 認定基準は、生活保護最低生活費認定基準の見直しによる影響がないように基準を設定する。	予算額	51,094千円	決算額	33,142千円	執行率	65%					

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実績内容		評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
20	2211-27	河野博士 育英事業	河野省三文学博士の遺徳を たたえ、渡辺喜之助氏、渡辺 国雄氏両氏の寄附希望条件に 副うため、加須市に住所を有 する者で経済的理由により就 学が困難な者に対し学資金を 給与し、もって有用人材の育 成を目指す。	・新規給与者を11人選考 ・年額12万円を新規給与 者を含め27人分給与		1・ 目標を達成	指標(単位)	新規に採用する奨学生の人数 (人)						学力が優秀でありながら経済的 理由で就学が困難な生徒に、適正 に奨学金を給与する。
							年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
							目標		10	15	15	15	15	
							実績	9	11					
0106-03	学校教育 課	高等学校に在籍し、市内に 住所を有する者で経済的理由 により就学が困難な者に対し 年額12万円を給与する。給与 期間は、給与した時から当該 校を修了するまでとする。	予算額		25,889千円	1・ 目標を達成	募集要項に基づき、学力優秀で、経済的に就学が困難な生徒に適 切に奨学金が給与することができた。							
			決算額		25,009千円									
			執行率		97%									
21	2211-24	避難者支 援就学援 助事業	東日本大震災により被災し た児童生徒の保護者のため に、必要な援助をし、経済的 負担の軽減を目指す。	・所得に基づき対象世帯を 認定 ・就学援助費の支給(年3 回)		1・ 目標を達成	指標(単位)	就学援助費の支給率 (%)						今後においても、引き続き事業 を継続していく。
							年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
							目標		100	100	100	100	100	
							実績	100	100					
0106-04	学校教育 課	被災により援助が必要な児 童生徒に対し、学用品費、新 入学学用品費、修学旅行費、 校外活動費、給食費、医療 費、PTA会費、児童生徒会 費等の就学援助費を支給す る。	予算額		741千円	1・ 目標を達成	制度の周知を図る事により、援助を必要とする保護者への支援が できた。 令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響によ り、例年よりも宿泊を伴う行事に係る費用についての支給が減少し たため、予算の執行率が低くなった。 宿泊を伴う行事に係る費用…修学旅行等の中止							
			決算額		360千円									
			執行率		49%									

施策7 自立する力の育成

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
22	2211-17	防災教育 推進事業	東日本大震災を受け、本市独自の防災教育を推進し、災害発生時に的確な判断の下に、安全な行動によって生命の確保ができる子どもたちの育成を目指す。 拠点避難場所や地域で活躍できる中学生ボランティアリーダーを育成するための研修会を実施する。 また、防災教育研修の開催や従来の訓練の方法を見直した引き渡し訓練及び避難訓練などの実施、防災教育指導資料の活用促進を図る。	・災害時中学生ボランティアリーダー研修会の実施（各中学校代表生徒33名が参加予定） ・加須市防災教育研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・防災教育指導資料を活用した授業の実践 ・避難訓練等の改善・充実（災害時における子どもたちの安全確保） ・水害に係る避難計画作成及び説明会の実施	1・目標を達成	指標(単位)	市内各幼稚園及び小・中学校における「加須市防災教育指導資料」の活用率 (%)							各校において、加須市防災教育指導資料や防災ノートの活用が図られた。今後は、加須市防災教育指導資料や防災ノートを活用した授業実践等を共有し、さらなる活用及び防災教育の充実を図りたい。
	年度	2年度				3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)				
	目標					100	100	100	100	100				
	実績	100				100								
	全ての小中学校で「加須市防災教育指導資料」を活用することができている。													
23	2211-22	学校グリーン カーテン 事業	環境問題に真剣に取り組む幼児、児童生徒を育成するために、具体的かつ体験的な環境学習を実施する。 各幼稚園、各小・中学校の壁面や花壇等を活用し、ゴーヤやヘチマ等を栽培してネットにはわせ、校（園）舎南側にグリーンカーテンをつくる。	・ゴーヤ、アサガオ、ヒョウタン等の栽培によるグリーンカーテンの設置	4・大幅に遅れている	指標(単位)	環境に興味・関心をもっている児童生徒の割合 (%)							引き続き、各校（園）の実態に応じて、ゴーヤ、アサガオ、ヒョウタン等の栽培によるグリーンカーテンの設置、学校ファームにおける活動を推進する。
	年度	2年度				3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)				
	目標					95	95	95	95	95				
	実績	－				0								
	アンケートの実施ができなかったことで、大幅に遅れていると評価したが、市内幼稚園、小中学校併せて43校（園）のうち、33校（園）において、グリーンカーテンを設置することができた。													
0107-10	学校教育 課					予算額	0千円							
						決算額	0千円							
						執行率	－							

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
24	2211-18	中学生夢 創造チャ レンジ事 業	生徒の将来の夢や希望を育むため、進路意識の啓発、高揚を図り、中学生が望ましい職業観や働くことの意義、生き方等を学ぶ機会の充実を目指す。	・生徒の職場体験や福祉体験のために必要な保菌検査の実施や損害保険への加入等の支援の実施を予定していたが、コロナ禍のため、中止となった。 ・市内中学校でのふれあい講演会の実施のための支援	3・やや遅れている	指標(単位)	ふれあい講演会を実施した中学校の割合 (%)							生徒の職場体験や福祉体験のために必要な保菌検査の実施や損害保険への加入等の支援の実施 市立中学校でのふれあい講演会の実施のための支援 ふれあい講演会は、埼玉県からの補助金(各校5,000円)が平成27年度で終了となった。平成28年度以降は、市費により同額の支援を行っている。講演会は、生徒一人一人の将来の夢や希望について考えることのできるよいキャリア形成の機会となっていることから、今後も支援を継続する。
						年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
						目標		100	100	100	100	100		
						実績	38	50						
0107-15	学校教育課	中学生が人とのふれあいを通して「働くことの意義」や「生き方」について学ぶ、市各中学校が企画する職場体験学習(原則として3日間)に必要な消耗品費や保菌検査、損害保険加入等を支援する。 地域の方等から生き方や職業についての話を聞く「ふれあい講演会」の支援を行う。	予算額	558千円										
			決算額	20千円										
			執行率	4%										
			「職場体験学習」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市内全公立中学校で中止とした。 「ふれあい講演会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施の可否の判断を含め、各学校の実情に合わせた実施をし、4校で行われた。 執行率についても、新型コロナウイルス感染症の影響で職場体験学習の保菌検査料や損害保険料を使用しなかったため、低くなっている。											
25	2211-19	市職員マン パワー 活用事業	地域密着型教育の推進のために、市職員が有する専門的知識、技術等を学校教育に活用し、教育活動の充実をめざす。	・市職員による「教科等の学習活動」、「教科等以外の教育活動」、「教職員の研修」等、学校教育活動を支援・指導	6・コロナによる影響	指標(単位)	市職員の派遣を要請した回数 (回)							各学校に本事業の活動事例を周知し、より効果的な人材活用を図るとともに、他課と十分な連携を図る。
						年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
						目標		10	10	10	10	10		
						実績	2	3						
0107-16	学校教育課	市内の公立小・中学校及び幼稚園(以下「小・中学校等」という。)からの要請に基づき、市職員を講師として、小・中学校等へ派遣し、市職員が有する専門的知識、技能等を活用した教科等の学習活動の支援及び教職員研修等を行う。	予算額	0千円										
			決算額	0千円										
			執行率	—										
			加須市オリジナルマイバッグ無償配布事業に係る講話や、職業学習の講話など、学校のニーズに応じて対応したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講師派遣の機会が少なかった。											

基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します

施策1 いじめ対策の充実

【事業】 【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
26	2212-01	いじめ・ 不登校対 策事業	すべての児童生徒が楽し く、安心して学校に通えるよ う、市立小・中学校における いじめの問題を根絶し、併せ て不登校問題の解消を目指 す。	・不登校問題対策委員会 （年2回）での情報交換や 有効な対応策の検討 ・教育センターを核とした 教育相談活動の展開 ・スクールカウンセラー等 による教育相談活動の充実 ・「個別支援シート」の積 極的な活用 ・「加須市いじめの防止等 のための基本的な方針」に 基づく取組の推進 ・「いじめ撲滅メッセー ジ」等による啓発運動の推 進 予算額18,948千円 決算額17,861千円 執行率94%	3 ・や や 遅 れ て い る	指標(単位)	不登校児童の割合（小学校） (%)							長期欠席者について、学校だけ の対応でなく、関係機関との連携 を強化していく。 不登校の未然防止に向けて、 小・中学校の連携を強化してい く。 いじめ撲滅期間の実組の充実を 図り、いじめの未然防止、早期発 見に努める。
						年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
						目標		0	0	0	0	0		
						実績	0.43	0.53						
	指標(単位)	不登校生徒の割合（中学校） (%)												
	年度	2年度	3年度 (決算)			4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)					
	目標		0			0	0	0	0					
	実績	3.66	3.93											
	スクールカウンセラーやさわやか相談員等による教育相談体制の 充実を図っているものの、本人及び家庭に起因する問題を含めた 様々な問題があり、不登校児童生徒数は増加傾向にある。前年度か ら、小学校で6名、中学校で10名増加しているため、やや遅れて いるという評価とした。													

施策2 不登校対策を中心とした教育相談の推進

【事業】 【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 の取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等			
27	2212-02	教育センター運営事業	不登校児童生徒の学校復帰による不登校の解消を図るため、教育相談を充実させるとともに、児童生徒の生きる力を育成するため、教職員の資質向上に向けた研修の充実を図る。	・不登校児童生徒の学校復帰を目指すための「学習室ピア」を運営 ・教育相談の実施（教育課程研究室、相談室の活用） ・教職員研修を16講座実施 ・教育センター企画立案の各種研修会を実施	1・目標を達成	指標(単位)	「参加してよかったと感じた研修会」をあげた教職員数の割合 (%)	学校との連携を密にし、学校復帰にむけた支援の共通理解を図る。 必要に応じて、スクールソーシャルワーカーやすすく子育て相談室、市の福祉部門と連携した支援を実施し、問題の解決を図る。 新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、教職員研修の充実を図る。		
						年度	2年度		3年度(決算)	4年度
	目標		100	100		100	100		100	
	実績	－	100							
	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面型の研修を原則中止とし、教職員研修は4講座を実施した。研修後のアンケートから、参加者は研修を良かったと感じていた事がわかった。									
0202-01	学校教育課	不登校児童生徒の生活改善を図り、学校復帰を目指すため、「学習室ピア」を運営し、対象児童生徒を指導する。 教育相談室の運営や教育相談活動の充実を図る。 教育センターの企画立案のもとに、各種研修会を実施する。								
			予算額	17,888千円						
			決算額	15,399千円						
				執行率	86%					

施策3 学校等における人権教育の推進

【事業】 【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実施内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
28	2513-03	集会所管理運営事業	集会所での諸活動を通して、人権感覚を高め、人権問題の解決を図る。	・人権教育推進員による、小中学生学級や成人学級の指導、支援 ・集会所の鍵の貸出、清掃等のための集会所管理人の配置	6・コロナによる影響	指標(単位) 集会所年間利用者数 (人)	小・中学生学級や成人学級を開催し、集会所を積極的に活用していく。来館者が安心して利用できるよう、感染対策を行うことや施設の修繕を行っていく。					
	0203-01	生涯学習課	人権教育推進員による、小中学生学級、成人学級の指導・支援。 集会所管理人の配置。 集会所運営委員会の開催。 集会所の維持管理、修繕の実施。	・集会所事業の企画運営のための運営委員会の開催 ・集会所の保守・修繕等の維持管理 ・公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合や再配置の検討		年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)						
				目標				12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
				実績		2,371		2,758				
				新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集会所の利用制限や講座の中止により、令和2年度なみの利用人数であった。 しかし、開催した講座を通して、交流を深めつつ利用者の人権意識を高めて、人権問題解決に寄与することができた。								
			予算額	7,060千円								
			決算額	6,435千円								
			執行率	91%								

基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

施策1 安全・安心な給食の提供

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰越CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
29	2213-01	給食センター管理 運営事業	児童生徒の心身の健全な発達に資するため、学校給食センターを適正に管理運営し、栄養バランスに優れた安全安心な学校給食を提供する。	・児童生徒に安全安心でおいしい給食を提供 ・施設設備の維持管理及び衛生管理の徹底 ・学校給食センター運営委員会の開催 ・食物アレルギー対策と食育の推進 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小・中学校は分散登校に、幼稚園は夏季休業が延長となり、9月に学校給食を8日停止。	1・ 目標を達成	指標(単位) 学校給食提供日数(率) (%)	児童生徒園児に安全安心な給食を提供する。 安全で安心な給食の提供のため、設備の維持管理及び衛生管理の徹底を図る。					
	0301-01	学校給食課	各給食センターの施設を最大限に活用し栄養バランスに優れた安全安心でおいしい給食を継続的に提供する。 各給食センターの維持管理及び衛生管理の徹底を図る。 また必要に応じて修繕を行う。 衛生管理意識徹底を図るため、調理等業務従事者を対象に衛生講習会を実施する。 地場産野菜使用の拡大を図る。	年度		2年度		3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)
				目標				100	100	100	100	100
				実績		100		100				
3センターとも衛生管理を徹底した結果、事故等による給食停止は発生せず、目標どおり給食が提供できたため。												
30	2213-07	給食費収納対策事業	保護者からの学校給食費の収納を確実にすることにより、学校給食提供に係る財源を確保する。	・未納状況の把握 ・督促状・催告書の送付 ・電話催告の実施 ・臨宅徴収の実施 ・法的措置の実施 ・成果の確認	2・ 概ね達成	指標(単位) 現年度収納率の向上 (%)	今後も学校と連携し、早期着手に努め、収納対策を実施していく。					
	0301-02	学校給食課	保護者に給食費納入の重要性について説明をする。 収納状況を正確に把握する。 学校と連携し、滞納家庭に納入を督促する。 必要に応じて面談や臨宅徴収を行う。	年度		2年度		3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)
				目標				100	100	100	100	100
				実績		99.93		99.98				
現年度分については、未納が3ヶ月続いた場合、学校と連携し、未納状況を把握するとともに、児童手当からの納付など、早期着手を念頭におき、収納対策を実施したため。												

基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
31	2213-02	給食センター再編調整事業	学校給食センターの老朽化や運営状況、児童生徒の推移等を考慮しつつ、センターの設備費及び維持管理費の節減が図られるよう運営管理を行う。	・学校給食センター運営委員会を3回開催し、給食センターの再編について説明し、北川辺学校給食センターを廃止し、加須学校給食センターと騎西学校給食センターの2センター体制とする方針の了承を得た。	1・ 目標を達成	指標(単位)	学校給食センター運営委員会開催回数 (回)						事業の目標は達成し、本事業は廃止とした。
						年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
						目標		3	－	－	－	－	
						実績	－	3					
	0301-03	学校給食課	学校給食を2センターから提供できるよう配送校の再編を調整する。 新学校給食センターを建設し、再度配送校を再編し、加須学校給食センターと新学校給食センターから学校給食を提供する。	北川辺学校給食センターを廃止し、加須学校給食センターと騎西学校給食センターの2センター体制とする。 準備期間をとったうえで、令和5年2学期から2センター体制に再編する。 上記の再編方針を審議するため、学校給食センター運営委員会を開催した。 学校給食センター運営委員会の運営経費については、本事業とNo.29給食センター管理運営事業とで分割して支出したため、執行率は、9%となった。									
				予算額		184千円							
				決算額		17千円							
			執行率	9%									

施策3 健康の保持増進

【事業】 【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
32	2213-02	小学校健康推進事業	学校保健安全法に基づき小学校児童及び教職員の健康管理をすることで、教育環境の充実を図る。	・法に基づく健康診断の実施及び検査結果の報告 ・歯科衛生士による歯磨き指導の実施 ・学校の環境衛生検査の実施 ・教職員の健康診断(養護教諭のB型肝炎予防接種)及びメンタルヘルスに係るストレスチェックを実施 ・健康診断に係る備品の把握及び整備 ・アレルギー発生時に対応した職員研修等の充実	2・概ね達成	指標(単位)	児童のう歯治療率 (%)							児童の口腔衛生を促進するために、養護教諭の取組や治療勧告の状況などを共有できる研修会等を開催していく。
	年度	2年度	3年度(決算)			4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)					
	目標		96			96	96	96	96					
	実績	87.8	86											
	歯みがき指導等により、口腔衛生の必要性・重要性を理解させる健康教育を実施し、健診等で早期発見に努めている。													
0303-01	学校教育課	学校保健安全法に基づく児童の健康診断(内科・歯科検診、尿検査、心電図検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査)を実施する。 フッ素塗布、歯磨き指導を実施する。 教職員の健康診断、胃がん、大腸がん検診及びストレスチェックを実施する。 学校環境衛生検査を実施する。 食物アレルギーに関する職員研修を充実する。	予算額	30,027千円										
			決算額	25,777千円										
			執行率	86%										
33	2213-03	中学校健康推進事業	学校保健安全法に基づき生徒及び教職員の健康を管理することで、教育環境の充実を図る。	・法に基づく健康診断の実施と検査結果の報告 ・歯科衛生士による歯科指導の実施 ・学校の環境衛生検査の実施 ・教職員の健康診断(養護教諭のB型肝炎予防接種)及びメンタルヘルスに係るストレスチェックの実施 ・健康診断に係る備品の把握及び整備 ・アレルギー発生時に対応した職員研修等の充実	2・概ね達成	指標(単位)	生徒のう歯治療率 (%)							生徒の口腔衛生を促進するために、養護教諭の取組や治療勧告の状況などを共有できる研修会等を開催していく。
	年度	2年度	3年度(決算)			4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)					
	目標		96			96	96	96	96					
	実績	95.7	93.1											
	各学校では、生徒の健康維持・向上を目指し、歯科指導や学校保健委員会を定期的に開催している。													
0303-02	学校教育課	学校保健安全法に基づく生徒の健康診断等(内科検診、歯科検診、尿検査、心電図検査、貧血検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査)を実施する。 教職員の健康診断、胃がん、大腸がん検診及びストレスチェックを実施する。 生徒に歯科指導を実施する。 学校環境衛生検査を実施する。 食物アレルギーに関する職員研修を充実する。	予算額	14,517千円										
			決算額	13,179千円										
			執行率	91%										

基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

施策1 安全で安心な教育環境の整備

【事業】 【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実施内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
34	2214-01	小学校管理運営事業	明るく豊かで活気に満ちた児童の健全な育成を目指し、小学校における教育環境の整備を図る。	・保守点検や委託による施設維持管理 ・各小学校管理運営のための配当予算措置 ・用務員の任用 ・学校日誌・学級日誌・納入袋・卒業証書等の印刷製本	2 ・概ね達成	指標(単位) 図書整備率100%達成校数 (校)	小学校22校について、引き続き、適切に管理運営を行う。 また、学校図書館の活性化を図りつつ、全校で図書整備率100%達成を目指していく。
	0401-01	教育総務課	小学校22校について、必要な消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、委託料、土地借上料、備品購入費を措置し、管理運営を行う。			年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)	
						目標	
						実績	
小学校22校の管理運営を行うに当たり、各学校と連携を図りながら、各学校に1名ずつ用務員を任用するとともに、保守点検や物品の購入などの必要諸経費を適切に支出することができた。 学校図書においては、全22校中21校が図書整備率100%を達成することができた。また、学校図書館の活性化を図るため、適正な図書の購入と廃棄を行っている。							
35	2214-02	中学校管理運営事業	明るく豊かで活気に満ちた生徒の健全な育成を目指し、中学校における教育環境の整備を図る。	・保守点検や委託による施設維持管理 ・各中学校管理運営のための配当予算措置 ・用務員の任用 ・学校日誌・学級日誌・納入袋・卒業証書等の印刷製本 ・各種大会に係るバスの借上げ ・中学校体育連盟への補助金交付	2 ・概ね達成	指標(単位) 図書整備率100%達成校数 (校)	中学校8校について、引き続き、適切に管理運営を行う。 また、学校図書館の活性化を図りつつ、全校で図書整備率100%達成を目指していく。
	0401-02	教育総務課	中学校8校について、必要な消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、委託料、土地借上料、備品購入費を措置し、管理運営を行う。			年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年)	
						目標	
						実績	
中学校8校の管理運営を行うに当たり、各学校と連携を図りながら、各学校に1名ずつ用務員を任用するとともに、保守点検や物品の購入などの必要諸経費を適切に支出することができた。 学校図書においては、全8校中7校が図書整備率100%を達成することができた。また、学校図書館の活性化を図るため、適正な図書の購入と廃棄を行っている。							

基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

【事業】 【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実施内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等		
36	2141-01	公立幼稚園管理運営事業	公立幼稚園（13園）の適正な管理運営を行う。	・公立幼稚園の管理運営 ・教員免許状更新講習受講料の公費負担（会計年度任用職員、幼稚園教諭確保対策） ・主任教諭が担任をしている3園に、事務職員を配置	1・目標を達成	指標(単位)	保護者・地域への幼稚園教育活動に対するチラシやHP等での周知数(回)		
	年度	2年度	3年度(決算)			4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)
	目標		160			170	180	190	200
	実績		206						
0401-03	こども保育課	公立幼稚園13園について、必要な消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、委託料、土地借上料、備品購入費などを適正に管理し、管理運営を行う。 幼児・教職員の健康診断等を実施する。 幼稚園の環境衛生検査を実施する。 ・産休代替、欠員補充職員を雇い上げ適正に配置する。 ・幼稚園業務補助員を配置する。	公立幼稚園（13園）の管理運営を適正に行った。 会計年度任用職員（幼稚園教諭）確保対策として、教員免許状更新講習受講料を公費負担した。園の状況に応じて、産休代替及び欠員補充職員、事務職員、幼稚園業務補助員を適正に配置することができた。 さらに、各園の教育方針や幼稚園教育への理解を深めていただく手段として、チラシやHPを通して、保護者や地域に周知することができた。	幼児が安心安全に過ごせるよう、公立幼稚園と連携し、適正な管理運営を行う。 産休代替職員（会計年度任用職員、幼稚園教諭）確保のため、広報やHPを活用する。 幼稚園教育活動の周知については、各園によって差があるため、就園率アップに繋がるよう努める。 園児数、学級数、特別支援が必要な園児数に応じて、会計年度任用職員、幼稚園業務補助員数を配置する。					
37	2214-03	学校教育管理事業	学校教育課の事業を円滑に進めるために必要な経費を措置する。	・課の運営に係る諸経費の適正な管理・執行 ・令和4年度使用教科用図書採択協議会を開催	2・概ね達成	事業を円滑に進めるにあたり、必要経費を適切に支出する。		指導要領改訂による、教科用図書採択地区協議会を開催するための予算や、特定教科専門指導非常勤講師と欠員対応非常勤講師の配置に必要な予算などの、適正な管理執行に努める。	
	0401-06	学校教育課	課の運営に係る諸経費（主に人権関係予算と負担金等）の適正な管理執行に努める。						
			予算額			102,796千円			
			決算額			41,806千円			
			執行率	41%					

【事業】 【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
38	2214-04	小学校施設整備事業	学校施設の整備・充実を図り、安全で快適な学習環境を確保する。	・礼羽小学校外3校 消防用設備修繕 ・小学校 ミストシャワー修繕 ・不動岡小学校 校舎大規模改造工事設計業務委託 ・小学校 トイレ洋式化改修工事設計業務委託 ・小学校 トイレ洋式化改修工事（一期工事）監理等業務委託	1 ・ 目標を達成	指標(単位)	小学校施設の大規模改造工事実施率 〔大規模改造工事実施済棟数/大規模改造工事が必要な棟数×100〕 ※築後30年以上の棟数及び改修が必要な棟数の合計 (%)	長寿命化計画に基づき、全面的なトイレ改修・トイレ洋式化、校舎の木質化やバリアフリー化などを含めた大規模改造工事等を実施する。 校舎、体育館等の雨漏り対策について、修繕工事で対応できないものは、適切な手段を選択し対策を講じる。				
		年度	2年度	3年度 (決算)		4年度	5年度		6年度	7年度 (目標年)		
		目標		51.2%		50.0%	54.3%		57.4%	57.4%		
		実績	51.2%	51.2%								
		大規模改造工事の実績率については、3年度の実績はないが、4年度の不動岡小学校校舎大規模改造工事に向けて設計業務を計画通り進めた。 しかし、施設の老朽化が進んでいるため、令和3年3月に策定した加須市学校施設長寿命化計画を踏まえて、中長期的な計画全体の見直しが必要。 ※不動岡小学校校舎大規模改造工事監理業務委託、小学校トイレ洋式化改修工事（二期工事）監理等業務委託、小学校トイレ手洗い自動水栓交換工事設計業務、不動岡小学校校舎大規模改造工事、教室増加工事、小学校トイレ洋式化改修工事（二期工事）、小学校トイレ手洗い自動水栓交換工事、加須小学校会議室エアコン交換工事等について、令和3年度に完了しないため、889,091,000円を令和4年度へ繰り越した。										
		教育総務課	小学校22校について、環境改善を要する施設を常に把握し、優先度を判断して計画的に修繕、改修工事及び施設備品の購入を行う。	・騎西小学校外2校 救助袋ケース交換等工事 ・鴻荃小学校 浄化槽交換工事 ・花崎北小学校 昇降機改修工事 ・不動岡小学校外2校 防球ネット支柱交換等工事 ・田ヶ谷小学校 バックネット改修工事 ・小学校 トイレ洋式化改修工事（一期工事） ・高柳小学校 普通教室増加分カーテン購入 ・高柳小学校 特別支援教室等備品購入 ・【緑越】加須小学校外4校 プール循環ポンプ外交換工事 ・【緑越】樋遣川小学校 特別支援教室エアコン設置工事 ・【緑越】加須小学校外1校 特別支援教室情報通信ネットワーク環境施設整備工事 ・【緑越】元和小学校 コンピュータ室普通教室化工事 ・【緑越】大越小学校外1校 体育館屋根改修工事 ・【緑越】花崎北小学校 東側ベランダ防鳥ネット設置工事								
		0401-07		予算額	1,091,022千円							
				決算額	189,517千円							
				執行率	17%							

基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実績内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
39	2214-05	中学校施設整備事業	学校施設の整備・充実を図り、安全で快適な学習環境を確保する。	・加須西中学校外1校 消防用設備修繕 ・中学校 ミストシャワー修繕 ・中学校 トイレ洋式化改修工事設計業務委託 ・加須西中学校外2校 救助袋ケース交換等工事 ・加須東中学校 特別教室棟1階廊下床改修工事 ・加須北中学校外2校 防球ネット等改修工事 ・加須東中学校 特別教室棟2階ベランダ防鳥ネット設置工事 ・加須西中学校 朝礼台購入 ・【繰越】北川辺中学校（仮称）北川辺コミュニティセンター整備工事監理等業務委託（学校トイレ分） ・【繰越】北川辺中学校（仮称）北川辺コミュニティセンター整備工事（学校トイレ分） ・加須平成中学校外1校 特別支援教室等備品購入	1・目標を達成	指標(単位)	小学校施設の大規模改修工事実施率 〔大規模改修工事実施済棟数/大規模改修工事が必要な棟数×100〕 ※築後30年以上の棟数及び改修が必要な棟数の合計 (%)						長寿命化計画に基づき、全面的なトイレ改修・トイレ洋式化、校舎の木質化やバリアフリー化などを含めた大規模改修工事等を実施する。 校舎、体育館等の雨漏り対策について、修繕工事に対応できないものは、適切な手段を選択し対策を講じる。
						年度	2年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
	目標		58.8%	52.6%	52.6%	47.6%	54.5%						
	実績	58.8%	58.8%										
	大規模改修工事の実績率については、3年度の実績はないが、北川辺中学校の一部のトイレ全面改修など必要な整備を行った。 しかし、施設の老朽化が進んでいるため、令和3年3月に策定した加須市学校施設長寿命化計画を踏まえて、中長期的な計画全体の見直しが必要。 ※中学校トイレ洋式化改修工事監理等業務委託、中学校トイレ手洗い自動水栓交換工事設計業務、中学校トイレ洋式化改修工事、中学校トイレ手洗い自動水栓交換工事、騎西中学校事務室エアコン交換工事、中学校特別支援教室等備品購入について、令和3年度に完了しないため109,554,000円を令和4年度へ繰り越した。												
	予算額	137,640千円											
	決算額	24,544千円											
	執行率	18%											
	0401-08	教育総務課	中学校8校について、環境改善を要する施設を常に把握し、優先度を判断して計画的に修繕、改修工事及び施設備品の購入を行う。										
40	2142-01	公立幼稚園施設整備事業	公立幼稚園の施設整備を行い、教育環境の充実を図る。	・非構造部材の耐震点検を実施。（3園）	1・目標を達成	指標(単位)	市立幼稚園の非構造部材の耐震化対策実施率 （累計） (%)						加須市子ども・子育て支援計画に基づき、適正規模に満たない施設の統廃合等を検討する。 加須市学校施設長寿命化計画に基づき、計画的に大規模改修工事等を実施する。また、非構造部材の耐震性及び劣化状況の点検を行い、耐震化が必要なものについては対策を講じる。
						年度	2年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
	目標		0	23.1	46.2	69.2	100.0						
	実績		0										
	文部科学省の「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック」を活用し、幼稚園3園の点検を実施した。												
	0401-09	こども保育課	第2期加須市子ども・子育て支援計画及び加須市学校施設長寿命化計画に基づき、計画的に施設の改修、改築等を行う。				予算額	0千円					
決算額							0千円						
執行率							—						

基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

施策1 学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等						
41	2215-01	学校いき いきス テーショ ン事業	公立学校（園）の一層の活 性化と家庭や地域の教育力の 向上のため、学校及び幼稚 園・家庭・地域が一体となっ て子どもの健全育成を目指 す。	・「ふれあい推進長」の委 嘱と「学校（幼稚園）応援 団」の組織 ・「ふれあい推進長」は、 一部の小学校に常駐してい る。 ・「学校（幼稚園）応援 団」による学校（園）の教 育活動の具体的支援（学習 支援、登下校時の安心・安 全の確保、学校（園）の環 境整備など） ・子ども110番の家の委託	2 ・概 ね 達 成	指標(単位)	幼稚園応援団に登録する市民の数 (人)							学校（幼稚園）応援団の高齢化 により、登録者が減少している。 学校ごとに必要な応援団を精査す るとともに、新たな応援団の勧誘 が喫緊の課題である。					
						年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)							
						目標		220	220	220	220	220							
						実績	250	226											
	0501-01	学校教育 課	すべての公立学校（園） に、学校（園）と家庭・地域 社会の橋渡しとなる「ふれあ い推進長（学校応援コーディ ネーター）」を委嘱し、ボラ ンティアからなる「学校（幼 稚園）応援団」を組織する。 「学校（幼稚園）応援団」を 活用しながら学校（園）・家 庭・地域が一体となって様々 な活動を展開することで、子 どもの健全育成に取り組む。	予 算 額	4,225千円														
					決 算 額	4,132千円													
						執 行 率	98%												
					全ての公立学校（園）に、学校（幼稚園）応援団が組織され、感 染症対策を講じた上で、各校の実態に応じて活動ができた。 加須南小学校をはじめ、学校がふれあい推進長との連携を深めな がら学習環境の整備等に取り組んだ。														
				42	2215-02	地域密着 型教育広 報事業	地域密着型教育を進展させ るために、学校等の情報を広 く地域に広報することを目指 す。	・各学校のホームページの 適切な管理と指導 ・各学校の掲示物の本庁舎 及び各総合支所への掲示 ・マスコミ各社への積極的 な情報提供	2 ・概 ね 達 成	指標(単位)	掲示コーナーに掲示したパネル数 (枚)							今後もパネル公開を計画的に実 施し、学校等の情報を広く地域に 広報していく。	
										年度	2年度	3年度 (決算)	4年度		5年度	6年度	7年度 (目標年)		
										目標		624	624		624	624	624		
										実績	577	548							
0501-02	学校教育 課	各学校のホームページ及び 庁舎内の掲示コーナーを活用 して、各学校（園）の教育活 動を市民へ公開し、学校教育 に対する理解を深める。	予 算 額	0千円															
				決 算 額	0千円														
					執 行 率	—													
				目標値には達しなかったが、各学校（園）の特色ある教育活動を 計画的にパネル公開した。															

基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

【事業】

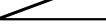
【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実績内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
43	2215-06	あいさつ ふれあい 推進事業	心のふれあいまちづくりのために、あいさつを通して、児童生徒の心の教育の推進や地域の防犯意識の高揚を目指す。	・年間を通じた継続的な取組と強化期間を設定しての重点的な取組の実施 （キャッチフレーズ、ロゴマークの周知、活用、イベントや駅前キャンペーン等の実施） ・市民協働推進課主管の「家族・地域の絆推進運動」の計画を基にした、実働的なあいさつ運動の展開 ・学校や行政機関へのPRグッズの配布	2・概ね達成	指標(単位)	地域の方にあいさつをしている児童生徒の割合 ※「家庭・地域の絆推進運動」アンケート結果より (%)	教育機関、地域、行政機関が一体となった「加須市あいさつ運動～あいさつさわやか かそのまち～」を推進する。 各学校の実態に応じて、あいさつ運動の充実を図る。					
						年度	2年度		3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)
						目標			95	95	95	95	95
						実績	77		76				
	0501-03	学校教育課	教育機関、地域、行政機関等が一体となった市を挙げた「加須市あいさつ運動～あいさつ さわやか かそのまち～」を推進する。 年間を通じた継続的な取組及び5月と10月に強化期間を設定しての実施する。			指標(単位)	「加須市あいさつ運動」のPRグッズを常設している学校の割合 (施設)						
						年度	2年度		3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)
						目標			100	100	100	100	100
						実績	100		100				
						新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、各校の実態に応じてあいさつ運動に取り組むことができた。							
						予算額	126千円						
						決算額	110千円						
						執行率	87%						
44	2215-03	保・幼・小中一貫 教育事業	学校不適応児童生徒の解消のために、保育所(園)、幼稚園、小・中学校相互の滑らかな接続をめざし、教育指導・内容の充実を図る。	・教職員の人的交流活動に加え、学習支援や保育・学習参観等を通して、教育活動や学習指導等の連携を強化 ・幼児、児童生徒の校(園等)種間の交流活動や合同遊び等を通して、保・幼・小中の「縦」の連携に加え、同一中学校区内の幼稚園や保育所、小学校の「横」の連携を強化 ・保・幼・小・中連絡協議会の開催(年1回)を通し、連携を強化	6・コロナによる影響	指標(単位)	保育所、幼稚園、小・中学校の交流の延べ回数 (回)	リンクミーティング(中学校区の合同会議)を通して保・幼・小中一貫教育の充実を図る。 保育所・幼稚園から小・中学校への「縦」の連携に加え、同一小学校区内の保育園と幼稚園、同一中学校区内の小学校といった「横」の連携についても併せて取り組む。 年度末に保・幼・小中連携協議会を開催し、リンクミーティングの成果及び交流活動の実績を振り返り、次年度に向けて連携を強化させていく。					
						年度	2年度		3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)
						目標			650回	650回	650回	650回	650回
						実績	275回		514回				
	0501-04	学校教育課	幼児、児童生徒間の異年齢集団による交流活動を通して、豊かな人間性や社会性を高める。 また、教職員が校(園等)種を越えて交流し、互いの指導内容や指導方法を理解し合うことで、教員としての指導力や人間性を高める。			新型コロナウイルス感染症の影響で、リンクミーティングの実施回数が制限されたほか、各種の交流活動の実施が難しい時期もあり、保育所、幼稚園、小・中学校の交流回数(幼児・児童生徒、教職員)が、目標に達しなかった。							
						予算額	4,100千円						
						決算額	1千円						
						執行率	0%						

基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

【事業】

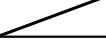
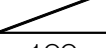
【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実施内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
45	2215-05	家庭の学びと地域の絆推進事業	家族・地域の絆づくりの一層の推進のため、「家庭教育力」と「地域の教育力」の向上を図る。	・絆啓発講座「就学前子育て講座」「親の学習講座」「家庭教育学級」の内容充実実施(各公民館、各文化・学習センター) ・市民まつり等のイベントを活用した絆運動のPR ・関係団体との連携によるポケットティッシュの配付 ・加須市あいさつ運動 ・家庭教育アドバイザーとの連携	6・コロナによる影響	指標(単位) 「就学前子育て講座、親の学習講座、家庭教育学級」の延べ参加者数 (人) 年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標  2,265 2,315 2,365 2,415 2,465 実績 431 453	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、安全面を第一優先とし、学習ニーズを的確にとらえ、可能な取り組みから従来の事業展開に戻す。
	0501-06	生涯学習課	家族や地域の絆を深めるために「就学前子育て講座、親の学習講座、家庭教育学級」を子育て中の保護者を対象に開催するなど、子どもと親の育ちを応援する学びの機会を充実する。 関係団体と連携して絆づくり啓発品を配付しながらあいさつ運動を継続する。	予算額 130千円 決算額 15千円 執行率 12%		新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、安全面を第一優先に事業規模を縮小して実施してきた講座もあるが、多くの講座等が中止となった。	
46	2312-05	まちかど美術館推進事業	芸術に対する市民の関心と興味を広く創出するため、市内各地域のまちかどで小学生等の作品を展示し、その展示作品に気軽に見て触れ合えることで「芸術文化に親しむ環境づくり」の充実を図る。	・まちかど美術館を全地域で開催することについての検討	6・コロナによる影響	指標(単位) 美術作品展示点数 (点) 年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標  982 984 986 988 990 実績 0 0	イベント等に合わせ市内の店舗を活用し、子どもたちの絵画を展示することで保護者等に子供たちの取り組みの成果を身近に感じてもらう機会をつくる。また、商店街のイベントと併せて実施することで、賑わいを創出する。
	0501-07	生涯学習課	市内各小学校等の協力により児童の絵画作品を募集し、商店等に展示する。	予算額 79千円 決算額 0千円 執行率 0%		指標(単位) 美術作品展示店舗数等 (店) 年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標  241 242 243 244 245 実績 0 0	
						新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、商店街のイベントが中止となり、まちかど美術館が開催できなかったため。	

基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実施内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
47	2215-16	かぞ子ども大学事業	地域で子どもを育てるしくみをつくり、地域の教育力向上を図る。	・「子ども大学かぞ実行委員会」に参画 ・入学・修了式、講義を年間5回程度実施 ・「発表・交流会」に参加 ・平成国際大学に対し開催の依頼 ・参加者数の増加を図るため、魅力ある講義を実施	6・ コロナによる影響	指標(単位) 子ども大学かぞ参加者数(対象:小学4~6年) (人)	平成国際大学(特に、スポーツ健康学部)と連携して、多様なテーマでの講義を展開する。教育委員会等への依頼をはじめ積極的に広報活動を行う。
	0501-08	子育て支援課	子ども大学実行委員会に参画し、入学・修了式のほかに年間5回程度の講義を行う。講義内容は、「はてな学」、「ふるさと学」、「生き方学」の3つのテーマを学習する。	予算額 274千円 決算額 2千円 執行率 1%		年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標  50 50 50 50 50 実績 29 0	
						令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、子ども大学の開催を中止とした。 子ども大学かぞ実行委員会・子ども大学かぞ子ども実行委員会は2回ずつ開催した。	
48	2215-08	通学路安全対策事業	市内の子どもたちの安心・安全の確保のため、登下校において、事故やけがなどによる負傷を避け、安全に登下校できるよう、速やかな対応による通学路環境の改善を目指す。	・市立各小・中学校による通学路安全点検の実施 ・市立各小・中学校の報告に基づき、関係各課等と連携した迅速な安全対策	1・ 目標を達成	指標(単位) 通学路安全対策事業要望に対する対応割合 (%)	通学路の危険箇所が新たに発生した場合には、随時対応していく。
	0501-09	学校教育課	各学校による通学路の安全点検の結果報告をもとに現地調査を行い、関係課や関係機関と協議の上、対策案を立案し、安全対策を講じる。	予算額 88,953千円 決算額 7,482千円 執行率 8%		年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標  100 100 100 100 100 実績 100 100	
						市立各小・中学校による通学路安全点検を実施した。 全国的に通学路における事故が多発していることを受け、市立各小・中学校からの報告に基づき、市道など危険箇所の緊急点検を実施し、道路の改修等を除く、グリーンベルトやカーブミラーの設置等の早急に対応すべき安全対策について、関係各課等と連携して対策を講じることができた。 令和3年度は、20箇所の改善を行った。	

施策3 青少年の健全育成の推進

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実施内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
49	2215-17	二十歳の 集い開催 事業	青少年の健全育成のため、 新成人を祝い、励まし、成人 としての意識の高揚と自覚を 促す。	・成人式実行委員会を組織 ・コロナ対策として4地域 で分散開催、このうち加須 地域については3部制とし て、中学校区ごとに開催 ・成人年齢引き下げ後も 「二十歳の集い」としての 開催周知	2・ 概 ね 達 成	指標(単位)	成人式出席率(新成人の内、実際に成人式に出席 した人数の割合) (%)							加須市の一体感の醸成を図るた め、会場を1か所に統合して開催 することは、市の方針として決定 しているため、コロナ禍が終息し た後、1会場化に伴う、実行委員 会体制、受付、動線等のレイアウ ト、日程等の見直しを行う。
		年度				2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
		目標					85	85	85	85	85			
		実績				70	75							
		新成人による成人式実行委員会との協働により、成人式の円滑な 実施がされ、新成人の自覚と意識の高揚が図られた。												
0503-01	生涯学習 課	成人式実行委員の協議・運 営により、成人式典および各 地域毎のアトラクションを行 う。		予算額	2,525千円									
				決算額	1,743千円									
				執行率	69%									
50	2215-07	青少年健 全育成事 業	青少年の健全な発達を促 し、自主性・社会性や正義 感・倫理観を持った豊かな人 間性を育むため、地域と一体 となった青少年関係団体の活 動の充実を図る。	・青少年を健やかに育成す る団体及び青少年団体の活 動への支援（PTA連合 会、加須市青少年育成市民 会議、青少年相談員協議 会、子ども会育成連絡協議 会、ボーイスカウト、ガ ールスカウト） ・非行防止キャンペーンの 継続的な活動	6・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	少年の主張、講演会の観客来場人数 (人)							新型コロナウイルス感染症拡大 防止の観点から、安全面を第一優 先とし、各種団体の動向を注視し つつ、可能な取り組みから従来の 事業展開に戻す。
		年度				2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
		目標					600	600	600	600	600			
		実績				0	0							
		新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、安全面を第一優 先に事業規模を縮小して実施してきたが、少年の主張大会は発表を 中止し各学校を通じ、表彰のみを行った。												
0503-02	生涯学習 課	青少年の健全な発達および 地域の教育力の向上のため、 青少年関係団体の活動を支援 したり、青少年関係団体と連 携し協働で事業を行う。		予算額	3,018千円									
				決算額	1,911千円									
				執行率	63%									

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

施策1 生涯学習活動の推進

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
51	2311-02	生涯学習 推進計画 進行管理 事業	市民の生涯学習活動の充実を図るため、学習機会の拡充や学習情報の提供、学習相談の充実、自主学習活動の支援など、市民の学習活動を支援する環境整備を計画的に推進する。	・事業の実施状況の点検、評価、進行管理 ・生涯学習推進会議の開催	1・目標を達成	指標(単位)	事務事業達成度における全事業数に対する「概ね順調」「達成済」の割合 (%)							多くの事業が新型コロナウイルス感染症の影響を受けているが、第3次生涯学習推進計画を計画的に推進し、適正な管理を行う。
						年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
						目標		95	95	95	95	95		
						実績	100	100						
						多くの事業が新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、コロナ禍においても推進可能な事業は、関係各課と連携をしながら点検評価を行うことで、計画的な推進ができた。 また、生涯学習推進会議を開催し、生涯学習推進会議委員が生涯学習推進計画の進行管理をチェックすることで、適切な進行管理が図れた。								
0601-02	生涯学習 課	計画の進捗状況の把握及び点検、評価を実施するとともに、推進会議や市民等からの助言や意見等を踏まえ、適切な進行管理を行う。	予算額	133千円										
			決算額	41千円										
			執行率	31%										
52	2311-06	生涯学習 管理事業	豊かな心を育む生涯学習によるいきがいつくりを行うために、生涯学習における予算の適正な管理運営を行う。	・事務経費管理執行 ・専門的知識の習得のため、社会教育主事講習の受講 ・社会教育委員による県、北埼玉、研修会等への参加	6・コロナによる影響	指標(単位)	加須市社会教育委員の総会等・研修会への参加 (回)							社会教育委員の専門的知識習得のため、積極的な研修参加を図る。 課内全体の事務経費の適切な執行を行う。
						年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
						目標		8	8	8	8	8		
						実績	0	5						
						新型コロナウイルス感染症の影響により、社会教育委員の総会・研修が一部中止となったため。								
0601-03	生涯学習 課	生涯学習課における管理運営に係る事務経費を執行する。 社会教育委員による各種総会、研修会への参加。 継続的に社会教育主事講習の受講。	予算額	2,209千円										
			決算額	1,241千円										
			執行率	56%										

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
53	2311-03	生涯学習 きっかけ づくり支 援事業	市民の学習参加のきっかけづくりと生涯学習活動を促進するために、市民一人ひとりがそれぞれの年代やライフスタイルに応じて、自由に学び、楽しみ、その学習成果を地域社会に活かせる仕組みを整備し、併せて地域の活性化を促進する。	・生涯学習セミナー（講座）の開催 ・公民館講座の開催 ・市民講師や生涯学習ボランティアを積極的活用 ・市民講師やクラブ・サークル情報の更新 ・生涯学習情報紙等やHPの充実 ・生涯学習セミナーでの専門講師の積極的登用	6・コロナによる影響	指標(単位)	公民館での講座の受講率 (%)					
		年度	2年度			3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
		目標	80			80	80	80	80			
		実績	0			76						
		指標(単位)	生涯学習市民企画委員人数 (人)									
年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度		6年度	7年度 (目標年)					
目標	16		16	16		16	16					
実績	15	13										
0601-04	生涯学習課	先駆的、話題性のあるテーマのセミナー（講座）を公民館、文化・学習センター等と連携し、開催する。 生涯学習情報を掲載した情報紙等を充実させ、市民へ啓発周知する。	予算額	4,679千円								
		決算額	1,373千円									
		執行率	29%									
54	2311-04	市民学習 カレッジ 事業	市民一人ひとりの生涯学習を通じた学習参加のきっかけづくりと学習活動を支援するため、市全体を対象として生涯学習の広がりや深まりを求めた学習機会を提供する。	・市民学習カレッジセミナーの実施 ・加須市生涯学習市民企画委員会の開催 ・生涯学習フェスティバルの開催準備（コロナ禍で中止） ・市民学習カレッジ募集号（ライフステージ）の発行	1・目標を達成	指標(単位)	市民学習カレッジの受講率 (人)					
		年度	2年度			3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
		目標	80			80	80	80	80			
		実績	0			83						
		指標(単位)	市民学習カレッジサークル化率 (%)									
	年度	2年度	3年度 (決算)	4年度		5年度	6年度	7年度 (目標年)				
	目標	14		15		15	15	15				
	実績	－	14									
	0601-05	生涯学習課	公民館、文化・学習センター等と連携を図り、市民講師や市内講師、市内全域の会場を活用し、趣味的教養的セミナーや現代的、社会的課題を取り入れた総合的な幅広いセミナーを実施。 全市民対象のセミナーを毎年度5月に概ね60セミナーを募集、開講。 生涯学習を循環させるための、生涯学習フェスティバルなどのイベント等を開催する。	予算額		2,876千円						
			決算額	1,377千円								
		執行率	48%									
						人数制限を設けて企画した、生涯学習課が主催及び共催したセミナーや、各公民館での高齢者、地域住民を対象とした各種講座だが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期や中止となったものが多かった。 市民ボランティア（市民企画委員「アシストかぞ」）との協働により事業を実施（企画）することで、市民との協働による生涯学習を推進した。 「ライフステージ」や生涯学習情報紙「やってみませんか」に市民企画委員「アシストかぞ」としての活動を紹介し募集した。 市民講師の台帳更新をするとともに、登録者数を増やし、イベントや各種セミナー（講座）での活用を推進した。						
						市民企画委員「アシストかぞ」の活動の紹介や魅力発信を継続し、新規委員の募集を図る。 市民講師の情報をデータベース化し、市民等の問い合わせに的確かつ迅速に答えていく。						

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
55	2311-05	シニアいきいき大学事業	高齢社会を明るく活力に満ちたものとしていくため、60歳以上の市民が健康で主体的に学習に参加し、自発的な学習活動を促進する機会を平成国際大学と連携して提供し、高齢者の力を社会に活かしていく。	・人文科学部を継続して開校 ・自然科学部を新たに開校 ・平成国際大学の専門的な講師を活用 ・専門的な内容の講義を実施 ・卒業生の活用、地域貢献(自主活動サークル相互交流の支援など)	6・コロナによる影響	指標(単位)	シニアいきいき大学生徒数(人)						受講生アンケートを行い、潜在的ニーズに合った講義内容を平成国際大学と調整し組み入れる。 期別自主活動サークルや期別を超えた同窓会サークルの円滑な活動に向けた支援を行うとともに、卒業生の地域ボランティア(生涯学習市民企画委員等)への登用を促進する。	
						年度	2年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
						目標	150150160160160							
						実績	91	99						
						新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、平成国際大学のキャパシティに合わせた人数制限が図られ、人文科学部68人定員、自然科学部31人定員に変更された。 令和3年1月に開校し、両学部とも2回実施したが、まん延防止等重点措置発令により中止。								
56	2311-09	文化・学習センター管理運営事業	市民の芸術文化活動や生涯学習活動の拠点施設として、より多くの市民が安全かつ快適に利用できるよう施設の整備・充実を図る。	・公共施設等総合管理計画を踏まえた計画的な施設修繕 加須：小ホールセンターカメラ応急修理、区画線設置工事等 騎西：機械室雑用水ポンプ自動制御盤交換等 北川辺：非常用照明灯バッテリー交換修繕等 大利根：通路等照明交換修繕、排煙窓修繕、水道漏水修繕等 ・適正な貸館業務 ・施設の快適な環境整備	6・コロナによる影響	指標(単位)	4施設延べ利用者数(人)						市民に快適に施設利用がされるよう、引き続き、計画的に施設修繕を進め、施設予約状況等をホームページで周知していく。	
						年度	2年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
						目標	245,000246,000247,000248,000249,000							
						実績	59,944	103,821						
						施設管理については、各施設ともに計画通りに修繕等を実施できた。新型コロナ感染拡大対策を講ずることができたものの、各部屋ごとに利用人数を半分に制限するなど、利用人数は大幅に減少したため。								
56	0601-07	文化・学習センター	センターの適正な管理運営と計画的な施設修繕を実施するため、運営方法の適時改善及び維持管理の効率化、設備の点検・改修を実施する。	予算額 決算額 執行率	239,777千円 192,026千円 80%	6・コロナによる影響								

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等		
57	2311-13	加須未来館管理運営事業	市民の宇宙や科学に関する関心を高めるため、宇宙・天体や科学について楽しく学ぶことができる教育施設としての機能の充実を図る。	・加須未来館の適正な施設管理 ・プラネタリウムの投影（人数制限あり）及びプラネタリウムを活用したイベントの実施（中止） ・発明クラブやフリー・トライデー等自主事業の実施（休止中） ・ラベンダー祭りロボットゆうえんち等の開催（中止） ・加須未来館プラネタリウムの維持管理及び保守	6・コロナによる影響	指標（単位）	プラネタリウム観覧者数（人）							人気、魅力あるプラネタリウムの番組を導入する。市内小中学生へのチラシ配布のほか、他自治体の小学生に向けて案内チラシを配布する。 また、SNS,市HPを積極的に活用し、効果のある情報発信を行う。	
						年度	2年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）			
						目標		15,500	16,000	16,500	17,000	17,500			
						実績	1,819	4,153							
	0601-08	文化・学習センター	宇宙・科学を始め、様々なことに興味・関心を抱き、何事にもチャレンジしていく好奇心を養うため、プラネタリウム投影や少年少女発明クラブ、フリー・トライデー、天体学習会等を開催する。	予算額48,165千円 決算額33,675千円 執行率70%		指標（単位）	加須未来館年間来館者数（人）								
						年度	2年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）			
						目標		96,000	97,000	98,000	99,000	100,000			
						実績	19,341	26,908							
						施設管理については、計画通りに修繕等を実施できた。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講ずることができたものの、各種事業の中止やプラネタリウム投影の入場制限を行うなど、入場者数等が大幅に減少したため。									
58	2311-12	公民館施設整備事業	公民館施設の整備充実を行い、利用者が安心・安全に利用できる公共施設として、公民館活動、市民活動及び生涯学習の振興を図る。	・修繕、工事の執行、備品の購入 ・中・長期の修繕及び工事計画、備品購入計画等の見直し検討	1・目標を達成	備品購入：水深公民館 掃除機1台購入 緊急の修繕、工事の執行は公民館管理運営事業で実施							公民館のコミュニティセンターへの移行に伴い、令和4年度から事業廃止。		
						公民館施設環境の維持・向上に努めた。各公民館の再整備について、整備計画や地域の状況を踏まえ検討した。									
	0601-09	生涯学習課	公民館施設の利便性の向上を図るため、老朽化した施設や備品を計画的・緊急的に修繕並びに整備を行い、利用者の安全安心な学習環境を整備する。 耐震診断結果を踏まえ、他の公共施設との複合化も含めた再整備を検討する。	予算額20千円 決算額18千円 執行率90%											

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
59	2311-13	公民館管理運営事業	地域住民のニーズに沿った公民館事業を効果的に展開することで生活文化の振興、福祉の充実を図るため適正な施設管理を行う。	・公民館施設管理及び運営 ・公民館参与、公民館職員との情報共有及び運営協議 ・公民館運営審議会による事業検討協議	6・コロナによる影響	指標(単位)	公民館利用者数 (人)						
		年度	2年度			3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)			
	目標		132,000			132,000	132,000	132,000	132,000				
	実績	51,203	63,295										
	指標(単位)	公民館利用団体の利用件数 (団体)											
	年度	2年度	3年度(決算)			4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)				
0601-10	生涯学習課	自主講座の開催や貸館業務などの地域活動の拠点施設や市民サービスセンター等の行政サービスの拠点施設として、地域に積極的に活用いただける施設管理を図る。	予算額 28,672千円 決算額 26,437千円 執行率 92%	目標			12,350	12,350	12,350	12,350			
				実績		6,778	8,138						
				自主講座は新型コロナウイルス感染症の影響が受けにくい内容に工夫して開催したが、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発令され、延期や中止となったものが多かった。 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発令中も市民サービスセンターは開設し行政サービスは継続した。 貸館業務については人数制限や消毒等感染防止に努めた。									
60	2311-12	余裕教室等活用事業	余裕教室等の有効活用を図り、地域住民の学習と交流の場として提供し、開かれた学校づくりを進める。	・活用事業の再確認 ・一般市民の活用のためのPR ・各種講座での活用等の検討		6・コロナによる影響	指標(単位)	余裕教室利用率 (%)					
		年度	2年度				3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)		
	目標		10		10		10	10	10				
	実績	27	0										
	0601-12	生涯学習課	各小中学校（全30校）における余裕教室等を、登録許可制により市民団体の活動の場として提供し有効活用する。		予算額 0千円 決算額 0千円 執行率 —		新型コロナウイルス感染症の影響により、利用団体数が減少した。 ※余裕教室等 6校12教室 礼羽小・大桑小・志多見小・北川辺西小・昭和中・北川辺中						
							各学校における一時利用可能教室数が減少しているため、各学校と調整を図り利用可能校を増やしていく。 利用者を増やすために、更なる周知を図っていく。						

施策2 芸術文化の振興

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等		
61	2312-03	文化・学 習セン ター芸術 文化振興 事業	市民が優れた文化・芸術に 触れることにより、教養や人 間性を高め、また自ら参加す ることにより創造性の育成を 図る。併せて芸術文化の振興 を図る。	・自主公演事業の企画、開 催 ・クラシックコンサートの 実施 ・市民創造参加型文化・学 習センター協働事業の見直 し ・コロナ禍における芸術文 化活動への支援策検討 ・文化・学習センター運営 委員会の開催	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	4施設延べ利用者数 (人)	小学生とその家族を対象とした クラシックコンサートを実施しな かったため、令和4年度において は、小学生も参加できる機会を提 供する。 市民創造参加型文化・学習セン ター協働事業の支援対象団体、支 援対象事業の見直しを進める。	
						年度	2年度		3年度 (決算)
	目標		245,000	246,000		247,000	248,000		249,000
	実績	59,944	103,821						
	指標(単位)	文化・学習センター自主公演事業来場者 (人)							
	年度	2年度	3年度 (決算)	4年度		5年度	6年度		7年度 (目標年)
	目標		5,000	5,200		5,400	5,600		5,800
	実績	0	1,265						
	新型コロナウイルス感染症拡大により、拡大防止策を講じながら 自主公演事業を実施したが、入場制限を行い来場者数が大幅に減少 したため。								
	0602-01	文化・学 習セン ター	文化・学習センター自主公 演事業の企画・運営。 市民創造参加型文化・学習 センター協働事業。 市内外の各種団体による ホール公演開催の促進。	予算額		3,929千円			
決算額				670千円					
執行率				17%					
62	2312-01	地域文化 振興事業	市民が多くの優れた文化・ 芸術に触れることにより教養 を高め、また自ら参加するこ とにより創造性の育成と芸術 文化の振興を図る。	・地域文化祭の開催準備 (コロナ禍で中止) ・加須市美術展の開催準備 (コロナ禍で中止) ・加須市民音楽祭の開催準備 (コロナ禍で中止) ・市内文化団体の活動支援	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	各地域文化祭の来場者数 (人)	今後は、市民が文化、芸術に直 接参加、鑑賞、発表できる機会を 充実させ、市民文化の高揚を図 り、多くの市民が参加する芸術、 文化活動を図っていく。	
						年度	2年度		3年度 (決算)
	目標		20,500	20,600		20,700	20,800		20,900
	実績	0	0						
	指標(単位)	文化祭の参加団体数 (団体)							
	年度	2年度	3年度 (決算)	4年度		5年度	6年度		7年度 (目標年)
	目標		240	245		250	250		250
	実績	0	0						
	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を考慮し、4地域におけ る文化祭の開催は、中止したため。								
	0602-02	生涯学習 課	市内文化団体の活動支援と 文化祭や美術展といった活動 発表の機会をつくる。	予算額		5,764千円			
決算額				1,605千円					
執行率				28%					

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等			
63	2312-02	地区文化 祭振興事 業	講座、クラブなどの学習及 び活動成果を発表、展示する ことにより地域住民の学習意 欲を高め、生涯学習の振興を 図る。	・公民館利用者及び公民館 講座受講生等による学習及 び活動成果の発表、作品展 示の準備。（コロナ禍で中 止）	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位) 地区文化祭来場者数 (人)	感染症防止対策を講じた文化祭 の手法や会場レイアウト等を検討 する。 ホームページ等を活用し、地域 住民以外への情報発信を行う。			
	年度	2年度	3年度 (決算)			4年度		5年度	6年度	7年度 (目標年)
	目標		11,300			11,300		11,300	11,300	11,300
	実績	0	0							
	新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、9公民館において 開催を中止した。また、開催が中止となったため予算の執行もな かった。									
0602-03	生涯学習 課	各地区公民館において文化 祭実行委員会を組織し、10月 下旬から11月上旬の2～3日 間（土日など）文化祭を開催 する。 公民館利用者及び公民館講 座の受講生等による学習成果 の発表や作品の展示などを通 じ、地域の学習拠点として来 館者や地域等と交流を深め、 学習への興味・意欲へつなげ る。	予算額	855千円						
			決算額	0千円						
			執行率	0%						
64	2312-04	偉人顕彰 事業	郷土の偉人を顕彰すること によって、郷土愛の醸成と芸 術・文化の向上を図る。	・郷土の偉人パネル展の実 施 ・斎藤与里作品の修復 ・偉人に関する資料整理 ・偉人顕彰活動の支援	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位) 偉人パネル展年間開催回数 (回)	斎藤与里をはじめとする郷土の 偉人の資料整理等を進め、加須の 偉人を市内外に情報の発信を行っ ていく。			
	年度	2年度	3年度 (決算)			4年度		5年度	6年度	7年度 (目標年)
	目標		8			8		8	8	8
	実績	1	2							
	新型コロナウイルス感染症の影響により、パネル展示を行うイベ ントが中止となったため。									
0602-04	生涯学習 課	偉人を紹介するためのパネ ル展や現存する資料の整理、 展示を行う。 各地域の偉人顕彰団体の活 動を支援する。 偉人生没年節目においては 記念事業を開催する。	予算額	4,348千円						
			決算額	4,060千円						
			執行率	93%						

施策3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成

【事業】 【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
65	2313-04	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業	郷土に対する理解や愛着を深めるよう郷土史の学習機会を提供する。	【北川辺郷土資料館】 ・郷土の歴史、考古及び民俗等に関する資料の整理、保存、展示、テーマ（水辺のくらし）に基づいた展示内容の広報・郷土資料館の管理運営	6・コロナによる影響	指標(単位)	北川辺郷土資料館の来館者数 (人)							北川辺郷土資料館については、引き続きカードの配布などを行い、加須の水辺のくらしについてPRを行う。 騎西郷土史料展示室については、収蔵資料の一部を騎西支所等で公開し、資料の活用と郷土愛の醸成をはかる。
		年度	2年度	3年度(決算)		4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)					
	目標			760		765	770	775	780					
	実績	139	577											
	指標(単位)	騎西郷土史料展示室の来館者数 (人)												
	年度	2年度	3年度(決算)	4年度		5年度	6年度	7年度(目標年)						
	目標			2,660		2,645	2,690	2,705	2,720					
	実績	101	601											
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、騎西郷土史料展示室の特別公開中止や北川辺郷土資料館の休館・見学予約の制限を行ったため、利用者が目標に達しなかった。													
	0603-01	生涯学習課	【北川辺郷土資料館】 郷土の歴史、考古及び民俗等に関する資料の保存、展示を行う。その運営のため施設の適正な管理を行う。 【騎西郷土史料展示室】 民俗資料や騎西城跡出土品等の考古資料を展示する。藤まつりや文化祭の時期にあわせて特別公開する。その運営のため施設の適正な管理を行う。	【騎西郷土史料展示室】 ・民俗資料や騎西城跡出土品等の考古資料の展示 ・郷土史料展示室の管理運営		予算額	2,800千円							
決算額					2,609千円									
執行率					93%									
66	2313-02	加須インターネット博物館管理運営事業	市民が郷土の歴史・文化を知り、郷土への理解を深めるため、インターネット上に博物館を構築し、情報を広く発信する。	1・目標を達成	指標(単位)	インターネット博物館のアクセス回数 (件)							各コーナーバランスを見ながら内容の充実をはかる。 市内の無形民俗文化財の公開日程などのリアルタイムな情報発信に努める。	
		年度	2年度		3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)					
	目標				13,100	13,200	13,300	13,400	13,500					
	実績	14,557	15,490											
	必要に応じたコンテンツの更新やリアルタイムな情報発信に努めた。													
	0603-02	生涯学習課	加須インターネット博物館には、原始・古代から現代までの郷土の歴史を網羅した総合博物館や美術館としての機能をもたせる。 指定文化財をはじめとする収蔵資料・郷土の偉人等をインターネットをとおして市内外に情報発信する。			予算額	547千円							
						決算額	547千円							
						執行率	100%							

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
67	2313-03	伝統文化 継承支援 事業	市内の特色ある伝統文化を 伝承していくため、地域にお ける伝統文化の継承活動を支 援する。	・無形民俗文化財保存会へ の支援 ・加須市郷土かるたの活用 (第9回加須市郷土かるた 大会) ※新型コロナウイル ス感染症拡大防止のため 中止 ・各小学校の新1年生への 郷土かるた配布	2・ 概 ね 達 成	指標(単位)	伝統文化保存会後継者数 (人)							他市同事例を参考に保存会の活 性化を支援する。
	年度	2年度	3年度 (決算)			4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)					
	目標					316	317	318	319	320				
	実績	318	310											
	伝統文化継承保存会の活動支援により、伝統文化の継承ができた。													
68	2313-01	文化財の 保存と活 用による 地域活性 化事業	市内の文化財を保存・活用 することにより、後世へ継承 し、市民の文化財愛護に関 する意識の高揚と地域活性化を 図る。	・開発に伴う埋蔵文化財調 査 ・市内文化財保護、啓発、 調査 ・発掘調査報告書の刊行 ・指定文化財管理者への謝 金支出 ・文化財保護審議会の開催 ・騎西城出土品のプラザさ さいでの展示 ・文化財説明板2基設置及 び10基修繕 ・文化財標柱杭3基修繕	2・ 概 ね 達 成	指標(単位)	文化財回答件数(文化財質問への回答件数) (件)							今後も、市内外に文化財に関す る情報を提供し、興味関心をもっ てもらうように努める。
	年度	2年度	3年度 (決算)			4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)					
	目標					90	90	90	90	90				
	実績	93	86											
	窓口や電話等における文化財の質問に対して、迅速かつわかりやすさを心掛け、また、必要な資料を収集し回答した。													
	0603-03	生涯学習 課	伝統文化を継承する保存団 体への支援を行う。 加須市郷土かるたを活用し 広く市民に伝統文化を啓発す る。	予算額	1,189千円									
				決算額	683千円									
				執行率	57%									
	0603-04	生涯学習 課	市内文化財の調査・保護・ 啓発を行い、市民への文化財 普及活動に努める。 開発に先立つ試掘調査を実 施し、必要に応じ発掘調査を 実施する。 発掘調査報告書を刊行す る。 文化財の理解を深め、文化 財愛護精神を培かう為、文化 財めぐりを実施する。	予算額	11,895千円									
				決算額	8,948千円									
				執行率	75%									

施策4 読書活動の推進

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実績内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
69	2314-03	絵本との 親子ふれ あい事業	親子が絵本をとおしてふれあう時間をもつとともに、親子で本に親しみ、子どもが本の楽しさを知るきっかけをつくることで子どもの読書活動を推進する。	・9～10か月児健診時に職員とボランティアが乳児と保護者に絵本の手渡し ・0～3歳児向け絵本リストの配布 ・4～6歳児向け絵本リストの配布	6・コロナによる影響	指標(単位)	事業の満足度 (%)	絵本の読み聞かせや、事業についてのアンケートをコロナ禍で実施する方法を探る。					
						年度	2年度		3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)
						目標			100	100	100	100	100
						実績	—		—				
69	0604-03	図書館課	9～10か月児健診時に乳児とその保護者に絵本と絵本リストをプレゼントし、併せて図書館職員とボランティアによる読み聞かせを行うことによって、親子で絵本に親しむ家庭の割合を高め、乳児の健やかな心の成長を支援する。 希望者には、図書館利用カードを発行するとともに、親子を対象にわらべうた講座を開催する。また、ボランティア育成のため研修会を行う。	予算額	426千円	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、絵本の読み聞かせおよび絵本との親子ふれあい事業についてのアンケート調査を実施することができなかったため。							
				決算額	377千円								
				執行率	88%								
70	2314-04	ブック トーク・ おはなし 会開催事業	子どもが物語や本に親しみながら本の楽しさを知り、心豊かに健やかに成長できるよう支援する。	・ブックトークの開催 ・学校等への図書の団体貸出	6・コロナによる影響	指標(単位)	ブックトークの年間実施回数 (回)	学校に働きかけをして、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで実施をする。					
						年度	2年度		3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)
						目標			24	25	26	27	28
						実績	3		17				
70	0604-04	図書館課	小学校等から依頼を受け、司書もしくは司書とボランティアが出向いて、ストーリーテリング、絵本の読み聞かせ、ブックトークなどを行う。 図書館では、ボランティアや職員が参加者の年齢にあわせ、手遊び、わらべうた、紙芝居、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリングなどを行うおはなし会を定期的で開催する。	予算額	160千円	学校の依頼により、授業中に職員が訪問し、ブックトークを行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、依頼が減少したため、実績が伸びなかった。							
				決算額	19千円								
				執行率	12%								

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実績内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
71	2314-05	図書資料 整備充実 事業	高度化・多様化する市民 ニーズに応え、市民の教育と 文化の発展に寄与する。	・図書館資料の計画的な購 入・受入・装備 ・県内外の公共図書館との 連携 ・郷土資料（行政資料等） の収集・受入 ・図書館資料の適切な除籍	1・ 目標を達成	指標(単位) 市民1人当たりの蔵書数 (冊) 年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標  5.25 5.26 5.27 5.28 5.30 実績 5.28 5.29    図書館資料の計画的な購入・収集・受入・除籍の実施により目標 を達成することができた。	引き続き計画的計画的な図書館 資料の購入・収集・受入・除籍の 実施をする
	0604-05	図書館課	加須市立図書館資料収集要 綱及び収集基準に基づき、新 刊案内情報誌、貸出傾向等を 参考に、利用者からリクエス トのあった図書、基本図書な ど多様な資料を購入し、地域 行政資料も積極的に受入整備 することで、蔵書の充実を図 り、市民ニーズに対応できる 魅力ある図書館づくりを図 る。 学校からの要望の高い資料 も適宜充実させる。	予算額 21,494千円 決算額 21,179千円 執行率 99%			
72	2314-06	図書館管 理運営事 業	市民に資料を提供して、調 査研究、及びレクリエーショ ンに資するために、利用し易 い環境を整備する。	・図書館情報システムによ る、貸出、返却、予約処理 ・各図書館間の本の回送 ・図書館協議会の開催 ・おおとね図書館の維持管 理 ・私の読書全記録の窓口で の配布及びweb機能の運用 ・行政情報発信を兼ねた資 料展示、所蔵資料の有効活 用	2・ 概ね達成	指標(単位) 市民一人当たりの年間貸出冊数 (冊) 年度 2年度 3年度(決算) 4年度 5年度 6年度 7年度(目標年) 目標  5.10 5.20 5.20 5.30 5.30 実績 3.27 4.18   新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、利用時間を制限 した期間があった中で、非接触型体温計、除菌ボックス、空気清浄 機などを導入し、安全な環境づくりに努めたため、貸出冊数が増加 した。	新型コロナウイルス感染症拡大 防止対策を講じ、安全な環境を整 備する。
	0604-06	図書館課	図書館を適正に管理運営し て図書館サービスの充実に努 める。 図書館情報システムを活用 した貸出、返却、予約処理、 及び返却の督促等を効率的に 行う。 時節ごとの展示等を行い、 親しみやすい図書館づくりに 努める。	予算額 78,576千円 決算額 77,034千円 執行率 98%			

基本目標6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実績内容		評価	成果・目標指標又は実績内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の実績内容等
73	2314-07	図書館まつり開催事業	図書館やボランティア団体等の活動内容を周知し、利用への関心を高め、図書館利用者の増加と読書普及活動の推進を図る。	・中止		6・コロナによる影響	指標(単位)	図書館まつり参加者数 (人)						新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、安全な図書館まつりを開催する。
		年度	2年度				3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
	目標		3,515				3,535	3,555	3,575	3,600				
	実績	0	－											
	0604-07	図書館課	図書館利用への関心を高め、利用者の増加と読書普及活動の推進を図るためのイベント等を実施する。 市民から寄贈を受けた本及び図書館で除籍された雑誌のリサイクル活用を目的とした古本市やボランティアによるおはなし会などを開催する。	予算額	0千円		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書館まつりを実施することができなかったため。							
決算額				0千円										
執行率				－										

施策5 人権教育の推進

【事業】 【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容		評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
74	2511-04	人権教育 推進事業	豊かな人権感覚を身につけ、人権問題についての正しい理解と認識を深め、人権が尊重される共生共存の社会の実現を図る。	・人権問題指導者研修会や人権問題講演会等の開催 ・人権啓発事業の実施 ・加須市人権教育推進協議会への補助 ・集会所の小中学生学級や成人学級の実施 ・同和対策運動団体の対応		6・ コロナによる影響	指標(単位)	人権教育推進事業への延参加者数 (人)						コロナ禍において、大人数を集めることは難しい。しかし、このような社会状況であるからこそ、人権意識を高める啓発を行い、人権問題を解決していく。
							年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
							目標	6,000						
							実績	1,886	533					
	0605-04	生涯学習 課	市民が豊かな人権感覚を身につけ、さまざまな人権問題の解決に資することができるように、各種研修会や講演会を実施する。				指標(単位)	人権問題講演会等の延受講者数 (人)						
							年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
							目標	1,850						
							実績	312	1,504					
							講座の中止や規模の縮小により、参加者が大幅に減少した。特に令和3年度は、小・中学生学級の中止により、参加者の減少による影響が大きかった。しかし、人権に関するリーフレットを作成配布し、各自で学習できるよう啓発を行った。							
							予算額		8,335千円					
決算額		2,965千円												
執行率		36%												

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

施策1 スポーツ参画人口の拡大

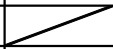
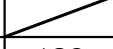
【事業】 【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
75	2411-02	スポーツ・レクリエーション推進計画進行管理事業	スポーツ・レクリエーションの振興を総合的かつ計画的に推進する。	・スポーツ推進審議会を開催 ・スポーツ推進計画の実績に対する評価を実施	6・コロナによる影響	指標(単位)	数値目標の達成率 (%)	成果と課題を検証し、次年度以降の各事業を推進する。				
						年度	2年度		3年度(決算)	4年度	5年度	6年度
	目標		80	80		80	80		80			
	実績	67	73									
	0701-02	スポーツ振興課	スポーツ推進審議会を開催し、意見を聴き、スポーツ・レクリエーションを推進する。 【計画期間：令和3年度～令和7年度】	予算額		103千円	スポーツ推進審議会を開催し、委員がスポーツ推進計画の進行管理をチェックし意見を聴取することによって、各事業の適切な進行管理が図れた。 令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、第2次計画の数値目標としている26事業中15事業が「コロナによる影響」の評価となり、それを除いた11事業のうち8事業については目標を達成できたが、評価については「コロナによる影響」とした。					
決算額	35千円											
執行率	34%											
76	2411-03	スポーツ普及推進事業	スポーツ関係団体との連携協働により、市民スポーツの普及を図る。	・スポーツ団体（スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会）への補助金交付等活動支援 （スポーツ団体加盟人数） スポーツ協会 3,708人 レクリエーション協会 610人 スポーツ少年団 622人 ・スポーツ特別功労賞表彰の実施 表彰者1名（ゴルフ）	2・概ね達成	指標(単位)	スポーツ・レクリエーション団体の加盟人数 (人)	多くの市民がスポーツに親しむことができるよう引き続き各団体の支援及び加盟団体の充実を促進し、市民のスポーツ活動を推進する。				
						年度	2年度		3年度(決算)	4年度	5年度	6年度
	目標		5,300	5,500		5,600	5,800		6,000			
	実績	5,488	4,940									
	0701-03	スポーツ振興課	市民スポーツを推進するため、関係団体の支援や加入促進を図る。	【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業】 ・加須はなさき公園プールの市内小学生への無料券配布		スポーツ・レクリエーション団体は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止や規模縮小により計画通りに事業を進めることができなかった。新型コロナウイルスの影響から活動自粛等により退会するチームもあったが、目標値の9割の実績となった。						
						予算額	15,320千円					
						決算額	10,751千円					
執行率					70%							

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実績内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等
77	2411-04	市民体育 祭支援事 業	地域住民が交流し絆を深め ることのできる市民体育祭を 通して、健康で活気のある地 域づくりを図る。	・各地域体育祭は、全地域 とも新型コロナウイルス感 染症拡大防止のため中止 - 加須地域 10月10日(日) - 騎西地域 10月17日(日) - 北川辺地域 10月10日(日) - 大利根地域 10月17日(日)	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位) 地域体育祭参加者数 (人)	多くの市民の参加を促進すると ともに、スポーツの推進と地域交 流や親睦を図るため、コロナ禍に 対応した地域体育祭を支援する。
						年度 2年度 3年度 (決算) 4年度 5年度 6年度 7年度 (目標年)	
						目標  7,100 7,100 7,100 7,100 7,100	
						実績 0 0	
78	0701-04	スポーツ 振興課	地域スポーツ協会等との協 働により、市内の4地域で開催 される市民体育祭を開催す る。	予算額 2,526千円 決算額 0千円 執行率 0%	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	各地域スポーツ協会で開催の可否を協議した結果、新型コロナウ イルス感染症拡大防止のため、事業を中止したため。	
78	2411-05	スポーツ 教室等開 催事業	スポーツへの関心を高め、 スポーツ参加機会の充実を図 る。	・市民のスポーツへの関心を高 めるためスポーツ教室を開催 ・ピラティス ・カヌー&ヨット教室 - 体験型ニュースポーツ教室(フ ロアカーリング・ボッチャ) ・小学生硬式テニス教室 ・前期、後期 クライミング教室 ・前期、後期Jrクライミング教 室 ・初心者スケートボード教室 ・サイクリング教室 ・Do You! スポーツミックス ※その他計画していた5教室は 新型コロナウイルス感染拡大防 止のため中止	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位) スポーツ教室参加人数 (人)	コロナ禍での教室のあり方を検 討する。また、教室の種類、募集 方法、時期なども検討し、引き続 き、市民が参加しやすい教室を開 催することにより市民のスポーツ の関心を高める。
						年度 2年度 3年度 (決算) 4年度 5年度 6年度 7年度 (目標年)	
						目標  740 780 800 800 800	
						実績 126 210	
78	0701-05	スポーツ 振興課	子どもから高齢者まで幅広 い年齢層の方が参加できる教 室を開催する。 ヨガピラティス教室 硬式テニス教室 小学生スキー教室 カヌー&ヨット教室 小学生水泳教室 体験型ニュースポーツ教室 パラスポーツ体験会・教室	予算額 1,387千円 決算額 578千円 執行率 42%	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していた一部の 教室を開催することができなかったことにより目標値を下回ったた め。 しかしながら、初心者スケートボード教室やサイクリング教室と いった新たな取り組みを行うとともに、新型コロナウイルス感染症 対策を講じたうえで開催した教室では幅広い年齢層の参加があっ た。	

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実績内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
79	2411-06	グラウンドゴルフ推進事業	グラウンド・ゴルフを通じて高齢者の仲間づくりや健康づくりを推進する。	・グラウンド・ゴルフ協会等と連携し大会開催を支援 加須市春季大会、夏季大会、秋季大会、レディス大会、加須市長杯、宮崎義重杯、加須市老人クラブGG大会、市民GG大会、加須市スポ協長杯ペアGG大会、各地域地区主催GG大会 ・さわやかグラウンド・ゴルフ大会実行委員会への補助金交付により大会開催を支援 【競技人口の内訳】 ・スポーツ協会（加盟競技団体）所属 479人 ・上記以外 349人 ・レク協所属 305人	2・概ね達成	指標(単位)	グラウンドゴルフ競技人口数 (人)						引き続き、グラウンド・ゴルフの普及・推進を行う。
		年度	2年度			3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)			
	目標		1,300			1,330	1,350	1,380	1,400				
	実績	1,219	1,133										
	加須市スポーツ協会及び加須市レクリエーション協会に加盟している人は減少傾向にあるが、これらに属さず有志等の仲間での競技を行っている者も少なくない。 グラウンド・ゴルフの推進により健康と仲間同士の親睦・交流を深めることができた。												
0701-06	スポーツ振興課	グラウンド・ゴルフ協会等と連携し、市民等の愛好者が交流を図れる大会を支援する。 さわやかグラウンド・ゴルフ大会（実行委員会への補助金交付） 加須市長杯 宮崎義重杯 ふじの里グラウンド・ゴルフ大会 加須市老人クラブ連合会グラウンドGG大会 市民グラウンド・ゴルフ大会	予算額	305千円									
	決算額	300千円											
	執行率	98%											
80	2411-07	健康スポーツ推進事業	ウォーキング、ニュースポーツ、ラジオ体操を通して市民の健康づくりや仲間づくりを推進する。	・ウォーキング大会開催 ・健康づくりウォーク（市・教育委員会主催） ・各地域スポーツ協会主催事業「目指せ健康！コロナに負けるな！！」を4地域で開催 ・地区スポーツ協会主催の2事業 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業】 ・童謡のふる里菜の花ウォーク（大利根地域スポ協主催） ・ふじの里ウォーク（騎西地域スポ協主催） ・地区スポーツ協会主催の7事業	6・コロナによる影響	指標(単位)	ウォーキング大会開催数 (回)						より多くの市民に参加していただけるよう様々な工夫を凝らしたウォーキング大会の開催を検討する。
		年度	2年度			3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)			
	目標		14			14	14	14	14				
	実績	4	7										
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域スポーツ協会及び各地区スポーツ協会が主催する多くのウォーキング大会が中止となったため。 ただし、各地域スポーツ協会では、それらに代わる事業として個人でもできるウォーキング事業（「コロナに負けるな！」）を実施し、571人といった多くの市民が参加した。												
0701-07	スポーツ振興課	市民がウォーキングに取り組むためのきっかけづくりとして「ウォーキング大会」の各地区での開催を促進するとともに、ニュースポーツ大会を開催する。 多くの市民が参加するラジオ体操を推進する。	予算額	97千円									
	決算額	64千円											
	執行率	66%											

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
81	2411-13	スポーツ 支援人材 育成・活 用事業	スポーツ推進委員事業を推 進するとともに、スポーツボ ランティアの活用を推進す る。	・新型コロナウイルス感染 症拡大防止のため、加須こ いのぼりマラソン、加須ふ じの里駅伝大会が中止と なったため、ボランティア の募集は行わなかった。 ・加須こいのぼりマラソン大 会 開催予定日：12月5日 （日） 場所：加須市民運動公園ほ か ・加須ふじの里駅伝大会 開催予定日：3月13日 （日） 場所：ふじアリーナ周辺	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	加須こいのぼりマラソン大会、加須ふじの里駅 伝大会の市民ボランティアの人数（人）							新型コロナウイルス感染症対策 を踏まえた安心・安全な大会運営 とともに、ボランティアの協力体 制についても検討する。
	年度	2年度	3年度 （決算）			4年度	5年度	6年度	7年度 （目標年）					
	目標							800	800	800	800			
	実績	0	0											
	加須こいのぼりマラソン大会及び加須ふじの里駅伝大会は、新型 コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止となったことによ り、ボランティアの募集は行わなかったため。													
	0701-13	スポーツ 振興課	スポーツ推進委員によるス ポーツ教室等の充実を図ると ともに指導者としての資質向 上を図る。また、各種大会に ボランティアとして市民の協 力をいただけるよう人材育成 や活用を推進する。	予算額	5,376千円									
				決算額	3,144千円									
				執行率	58%									
82	2411-15	総合型地 域スポー ツクラブ 育成事業	多世代にわたる多くの市民 が地域で多様なスポーツを自 由な時間に楽しめる生涯ス ポーツの振興を図る。	・平成国際大学が新たなクラブ の設立に向け、検討を進めてい るが、コロナ禍により進捗が遅 れている。 【活動しているクラブ】 埼玉KAZOスポーツクラブ 350人 ※FC KAZOは2つのクラブに 分離	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	総合型地域スポーツクラブ会員数（人）							平成国際大学を利用したスポー ツクラブ設立に向け、平成国際大 学教授や関係団体などと検討を重 ね、総合型地域スポーツクラブの 設立準備委員会の設置を促進す る。
	年度	2年度	3年度 （決算）			4年度	5年度	6年度	7年度 （目標年）					
	目標							900	900	900	900			
	実績	450	350											
	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、埼玉KAZOスポー ツクラブ（旧FC KAZO）が活動の自粛などにより会員数が減少してい ることや、平成国際大学が新たなクラブの設立に向けて進めている が、コロナ禍により教室などが開催されなかったことによって設立 に向けた取り組みが遅れているため。													
	0701-15	スポーツ 振興課	既存のクラブへの支援のほ か、新たなクラブの設立に向 けた支援を行う。	予算額	22千円									
				決算額	0千円									
				執行率	0%									

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等		
83	2411-16	スポーツ 施設整備 事業	安全で快適にスポーツがで きるプレー環境を実現する。	・施設の老朽化に伴い順次回収 を行い、安全・安心な施設運営 に努める。	1・目 標を達 成	指標(単位)	年度計画に対する整備率 (%)	新型コロナウイルス感染症対策 を徹底するとともに、老朽化して いる施設備品が多いため、交換や 修繕などにより安心して利用でき るよう努める。	
		年度	2年度			3年度 (決算)	4年度		5年度
	目標		60	65		70	75		75
	実績	62	64						
	スポーツ施設管理運営事業における修繕と合わせ、改修・修繕計 画を検討したうえで安全管理上必要なものから適時実施し、施設の 整備・充実を図った。								
0701-16	スポーツ 振興課	市内のスポーツ施設の修 繕・改修を実施する。	予算額	0千円					
	決算額	0千円							
	執行率	—							
84	2411-17	スポーツ 施設管理 運営事業	スポーツ施設を安全かつ円 滑に利用できる環境を実現す る。	・4地域5館の公共体育館と運 動公園等の屋外体育施設の管 理、貸出 ※検温や利用者名簿の提出、ス ポーツ時以外のマスク着用の徹 底、手指消毒の徹底など新型コ ロナウイルス感染症対策を行っ た。	6・コ ロナに よる影 響	指標(単位)	体育館、運動公園施設の年間利用者数 (人)	新型コロナウイルス感染症対策 を徹底するとともに、老朽化して いる施設備品が多いため、交換や 修繕などにより安心して利用でき るよう努める。	
		年度	2年度			3年度 (決算)	4年度		5年度
	目標		660,000	665,000		670,000	675,000		680,000
	実績	292,698	386,268						
	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設の利用時間 の短種やスポーツ大会等の中止、規模縮小によって利用者数が減少 したため。								
	0701-17	スポーツ 振興課	体育施設の適正な運営と維 持管理を行い、スポーツ活動 を促進する。 体育館5館 公園施設16ヶ所、30施設	・安全点検や毎朝のメーター確 認などにより早期の修繕対応を 図り安全なスポーツ環境を提供		予算額	97,142千円		
		決算額	91,032千円						
執行率		94%							

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容		評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
85	2411-18	学校体育施設開放管理運営事業	地域のスポーツレクリエーションの場を確保し、生涯スポーツの振興を図る。	・市内小中学校の学校体育施設の開放 ・市内学校開放施設、設備の維持管理 ・大桑小学校校庭夜間照明制御盤修繕		6・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	学校体育施設年間利用者数(人)						利用団体への新型コロナウイルス感染症対策をさらに徹底する。 また、老朽化した備品等について安全に利用できるよう順次更新等行う。
							年度	2年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
							目標		170,000	180,000	190,000	200,000	210,000	
							実績	78,594	126,087					
							指標(単位)	学校体育施設開放利用者団体登録数(団体)						
	年度	2年度	3年度(決算)	4年度	5年度		6年度	7年度(目標年)						
	目標		210	220	230		240	250						
	実績	195	189											
	新型コロナウイルス感染症対策として、施設利用の中止や開放時間の短縮などを行ったことにより利用者数が減少したため。													
	0701-18	スポーツ振興課	学校教育に支障のない範囲でスポーツを楽しむ団体等へ学校体育施設の貸出を行ないスポーツ活動を促進する。				予算額	5,302千円						
				決算額	3,471千円									
				執行率	65%									
86	2411-19	民間・県施設活用事業	様々なスポーツを広く行えるよう民間・県施設の活用を推進する。	・彩の国KAZOヴィレッジの利用促進 ・ホームページや市のスポーツ協会加盟団体等に施設利用等に関する案内 ・加須市民の日(3月23日)に市内団体の利用料金を無料化 ・加須はなさき公園多目的グラウンド使用料補助金交付 ・1団体、ソフトボール大会開催		2・ 概 ね 達 成	指標(単位)	彩の国KAZOヴィレッジの年間利用市内団体数(団体)						市民利用を促進するため、引き続きスポーツ団体による県施設などを利用したスポーツの普及を促進する。
							年度	2年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
							目標		250	260	270	280	290	
							実績	133	208					
	新型コロナウイルス感染症の影響があったことも考えられが、彩の国KAZOヴィレッジを利用する市内団体数が目標値の8割以上の実績となったため。													
	0701-19	スポーツ振興課	彩の国KAZOヴィレッジのほか、県施設や高校・大学・民間施設の活用を図る。				予算額	76千円						
							決算額	3千円						
							執行率	4%						

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実組内容		評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
87	2411-21	スポーツ 施設安全 点検事業	一般利用者が安心・安全に 利用できるプレー環境の実現 を図る。	・日常的な見回り点検を毎 朝実施。 ・月1回程度の安全点検の 実施。		1・目標を達成	指標(単位)	不具合による事故発生件数 (件)						利用者が安心して安全に施設を 利用できるように、日々の安全点 検を実施する。
							年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
							目標		0	0	0	0	0	
							実績	0	0					
	0701-21	スポーツ 振興課	安全な施設、最適な運動施 設環境をつくるため、体育館 内、野球場、テニスコート、 駐車場、各広場、鎮守前公園 等を巡回し、施設・設備・用 具等安全点検を行い、施設管 理者に報告する。	日々の点検により利用者が安心して安全に施設を利用できた。										
				予算額	0千円									
				決算額	0千円									
				執行率	—									

施策2 スポーツを核とした交流人口の拡大

【事業】 【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等			
88	2412-01	女子硬式 野球振興 事業	女子野球のさらなる推進と 「女子野球の聖地」の定着を 図る。	・全国高等学校女子硬式野球選 抜大会（共催） 新型コロナウイルス感染症対策 として、東京ドーム（決勝戦） を除く会場はチーム関係者のみ 観戦	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	女子硬式野球観客数 (人)	引き続き、団体と協力し、女子 硬式野球大会を開催することに よって地域の活性化を図ってい く。		
	年度	2年度	3年度 (決算)			4年度	5年度		6年度	7年度 (目標年)
	目標		12,800			13,800	14,800		14,800	14,800
	実績	無観客	5,009							
	全国高等学校女子硬式野球ユース大会は、令和3年度の第12回大 会から愛知県（一宮市など）で開催されることとなり、全国高等学 校女子硬式野球選抜大会は、毎年参加校が増加し、令和3年度は全 国から38チームの参加（前年度33チーム）があったが、新型コロ ナウイルス感染症対策として、東京ドームを除く会場はチーム関係 者のみの観戦となったことにより、大幅に目標値を下回ったため。									
89	2412-02	クライミ ング普及 事業	スポーツクライミングのさ らなる推進とクライミングの まちの定着を図る。	・全国高等学校選抜クライミ ング選手権大会 ・リードKAZOクライミング カップ ・クライミングウォール利用認 定会、体験会 ・加須市ボルダリング大会 ・スポーツクライミング教室 ※新型コロナウイルス感染症対 策を講じたうえで実施 ・親子スポーツクライミング体 験会 ※新型コロナウイルス感染症拡 大防止のため中止	6・コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	クライミングウォール利用者数 (加須市民体育館、南篠崎体育館) (人)	より多くの人がクライミングに 触れることができるよう、引き続 き加須市山岳連盟等と協力して事 業を行う。		
	年度	2年度	3年度 (決算)			4年度	5年度		6年度	7年度 (目標年)
	目標		11,000			11,500	12,000		12,500	13,000
	実績	3,870	6,124							
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの縮小や中 止や施設の利用時間の短縮等によって、利用者数が減少したこと により大幅に目標値を下回ったため。									
	0702-02	スポーツ 振興課	KAZOカップ、体験会、 認定会等を埼玉県山岳・ス ポーツクライミング協会及び 加須市山岳連盟と連携して開 催する。 ・日本山岳・スポーツクライ ミング協会主催の全国高等学 校選抜クライミング選手権大 会の支援を行う。	予算額	3,329千円	決算額	1,794千円	執行率	54%	

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実績内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
90	2412-03	自転車普及推進事業	新たに「自転車のまち」となるよう自転車を推進する。	・自転車競技大会の開催支援 4大会開催 参加者数：615人 ・サイクリング教室開催 参加者数：4人	1・目標を達成	指標(単位)	自転車競技大会開催数(回)						継続的に3大会が開催されるよう、また参加人数が増えるよう引き続き関係団体に要望する。
		年度	2年度			3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)			
	目標												
	実績	3	4										
	0702-03	スポーツ振興課	自転車競技大会の開催を推進するとともに、子どもから大人まで参加できるサイクリング教室を開催するなど、自転車利用を促進する。	予算額		9千円	新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、コロナ禍前に開催されていた3大会全てが開催された。さらに、この3大会に加え、主催者との調整によって加須タイムトライアル・ロードレース大会を誘致することができたため目標を達成することができ、加須市のイメージアップ、大会のPR及び競技の普及を図ることができた。						
			決算額	0千円									
			執行率	0%									
91	2412-04	こいのぼりマラソン大会開催事業	市民の健康増進や体力向上を図るとともに、健康で生きがいのある暮らしづくりに寄与するとともに、市のイメージアップを図る。	・加須こいのぼりマラソン大会は、開催の可否について6月24日(木)、8月16日(月)に関係者と協議した結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 開催予定日：12月5日(日) 場所：加須市民運動公園ほか	6・コロナによる影響	指標(単位)	こいのぼりマラソン大会参加者数(人)						コロナ禍に対応したマラソン大会のあり方などを検討し、引き続き全国から参加してもらえる大会にする。
		年度	2年度			3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)			
	目標												
	実績	0	0										
	0702-05	スポーツ振興課	市内スポーツ団体等との協働により、全国から参加する加須こいのぼりマラソン大会(1.5km、2km、3km、5km、10km、ハーフ)を開催する。	予算額		21,198千円	開催の可否について関係者と協議した結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が中止となったため。						
			決算額	0千円									
			執行率	0%									

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実績内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等					
92	2412-05	加須ふじの里駅伝大会支援事業	市民の健康増進や体力向上、生きがいづくり、人々との交流を図り、絆を深めるとともに、市のイメージアップを図る。	・加須ふじの里駅伝大会は、開催の可否について11月22日（月）、2月9日（水）に実行委員会を開催した結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 開催予定日：3月13日（日） 場所：ふじアリーナ周辺	6・コロナによる影響	指標(単位)	加須ふじの里駅伝大会参加チーム数 (チーム)	安全に大会を開催するため、定員より大幅に参加者が増えないように引き続き対策する。				
	年度	2年度	3年度 (決算)			4年度	5年度		6年度	7年度 (目標年)		
	目標		250			250	250		250	250		
	実績	0	0									
	開催の可否について実行委員会を開催した結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が中止となったため。											
93	2412-06	全国大会等支援事業	全国・世界規模の大会をはじめとする各種大会を開催し、スポーツへの関心を高め市民スポーツを推進する。	・令和3年度に開催された大会 ・トライアスロン 2大会 会場：渡良瀬遊水地 ・自転車競技 4大会 会場：利根川河川敷 ・女子硬式野球 1大会 会場： 加須さすなスタジアム 田ヶ谷サン・スポーツランド野球場 平成国際大学野球スタジアム 東京ドーム ・クライミング 2大会 会場：加須市民体育館 ・ボクシング 1大会 会場：加須市民体育館	6・コロナによる影響	指標(単位)	全国大会等の誘致数 (回)	引き続き、感染対策を行ったうえで開催できる大会の誘致に努める。				
	年度	2年度	3年度 (決算)			4年度	5年度		6年度	7年度 (目標年)		
	目標		14			14	14		14	14		
	実績	5	10									
	新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで令和3年度中に予定されていた大会は概ね開催され、加須市のイメージアップや大会のPR、競技の普及を図ることができたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マラソン大会や駅伝大会といった一部の大会が中止となったことから目標値を下回ったため。											
0702-07	スポーツ振興課	トライアスロンや自転車競技等の全国レベルの大会等に共催及び後援し、さらに主催団体、市民との協働により実施する。	予算額	80千円								
			決算額	61千円								
			執行率	76%								

基本目標7 スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

【事業】

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
94	2412-07	オリン ピック・ パラリン ピック関 連事業	2020東京オリンピック・ パラリンピックの開催をきっ かけにスポーツ振興や国際交 流を図る。	・ボクシング・柔道・陸上競 技・サッカー・レスリング・ボ クシングチームの受入れの準備 はしていたが、事前キャンプ等 はなかった。 ・受入れ期間中のイベントへの 参加や学校訪問などによる市民 との交流の準備	1 ・ 目 標 を 達 成	指標(単位)	コロンビアと小中学校児童生徒との交流回数 (回)						事業廃止
						年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	/				10	－	－	－	－			
	実績	0	21			－	－	－	－				
	新型コロナウイルス感染症の影響により直接的な交流はできな かったが、オンライン等によって交流を実施し目標値を達成した。												
	0702-08	スポーツ 振興課	コロンビア選手の事前ト レーニングキャンプの受入 (ボクシング・柔道・陸上競 技・サッカー・レスリング・ ボクシング)や聖火リレーの 応援、コロンビア共和国など との国際交流を進める。			予算額	41,337千円						
						決算額	18,893千円						
執行率						46%							

その他の教育事業

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	繰振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実組内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
95	2211-28	教育委員会運営事業	社会や地域の教育課題に柔軟かつ的確に対応し、かつ市民に開かれた教育委員会を運営するため、教育委員会の充実を図る。	・教育委員会定例会 ・総合教育会議 ・教育長、教育委員の学校訪問 ・埼玉県市町村教育委員会連合会総会参加 ・北埼玉地区教育委員会連合会総会・研修会参加 ・教育に関する事務事業の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書作成、公表 ・議決簿、会議録及び教育委員会交際費をHPで公表	2 ・概ね達成	指標(単位)	教育委員が訪問した教育関連施設数 (校・園)							引き続き教育委員会事務局の適正な管理運営を行う。 総合教育会議を開催し、引き続き、市長と教育委員会との連携を図る。 令和4年度の教育委員の施設訪問は、新型コロナウイルスの感染症拡大防止に配慮しながら、訪問先や訪問方法などを工夫して実施する。
		年度	2年度			3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)				
		目標				21	22	21	22	22				
		実績	6			10								
		教育委員会定例会を12回開催し、教育委員会の権限に属する事務について協議や審議を行うとともに、議決簿及び会議録をHPで公表した。 総合教育会議を1回開催し、市長と教育委員会との連携を図った。 昨年度に引き続き、教育委員会交際費をHPで公表した。 教育委員の施設等訪問については、令和3年度はコロナ禍により規模を縮小しての実施となったため目標数には達しなかったが、感染対策を取りながら、小学校3校、中学校1校、幼稚園2園、スポーツ施設2施設、学校給食センター1センター、教育センターを訪問し、その結果、教育委員の見識を深めることができ、会議での議論の活発化にもつながったため、「概ね達成」とした。												
						予算額	4,071千円							
						決算額	3,202千円							
						執行率	79%							
96	2211-29	教育委員会事務局管理事業	社会や地域の教育課題に柔軟かつ的確に対応し、かつ市民に開かれた教育委員会を運営するため、教育委員会事務局の適正な管理運営を行う。	・教育委員会事務局の管理運営に係る諸経費の執行 ・「加須市の教育」刊行 ・教育功労者表彰式実施 ・各種教育長会議等の負担金等の支払い	1 ・目標を達成	指標(単位)	「加須市の教育」発行部数 (部)							引き続き教育委員会事務局の適正な管理運営を行う。 「加須の教育」については、内容を更新するとともに、よりわかりやすいものとなるよう見直しを行っていく。 教育功労者表彰について、推薦基準に基づき適正に実施する。
		年度	2年度			3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)				
		目標				160	160	160	160	160				
		実績	160			160								
		教育委員会事務局の管理運営に係る諸経費を節減に努めながら適切に執行した。 「加須市の教育」について、目標部数の160部を発行し、関係機関等に配布するとともに、HPで公表した。 教育功労者表彰式は、新型コロナウイルス感染症の予防対策をした上で開催し、推薦基準に基づき43人を表彰した。												
						予算額	1,306千円							
						決算額	621千円							
						執行率	48%							

【評価】は6段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響)

No	総振CD プランCD	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実績内容	評価	成果・目標指標又は取組内容・実績 評価の理由	事業の改善点・ 今後の取組内容等						
97	2211-02	加須市人 づくり プラン進行 管理事業	「加須市人づくり宣言～教育大綱～」の基本理念である 家族・地域の絆を大切に、生 きる力を醸成し、三つの目指 すべき市民の姿を実現させ る。	・「加須市人づくりプラン」の周知 ・各事業の実績把握と教育 総合会議への報告	6・ コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	目標達成率 〔「概ね達成」「目標を達成」の事業数÷全事 業数×100〕 (%)	第2次加須市人づくりプラン (計画期間：令和3年度から令和 7年度)の進行管理を毎年度行っ ていく。					
						年度	2年度		3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)
						目標			80	85	90	95	100
						実績	－		85.7				
						令和3年度は、164事業のうち59事業（36.0%）が新型コロナ ウィルス感染症により事業実施に大きな影響を受けたため、事業の 評価は「コロナによる影響」とした。 コロナの影響が大きかった59事業を除いた105事業の評価で は、90事業（85.7%）が「目標を達成」または「概ね達成」との 評価であった。							
－		教育総務 課	「加須市人づくりプラン」の 施策を的確に実施するよう、 進行管理を行う。	予算額	0千円	決算額	0千円	執行率	－				

6 令和2年度評価を踏まえた取組状況等

令和2年度の教育委員会点検・評価で元加須市教育委員の加藤久佳氏及び小林義之氏の2名の学識経験者からいただいたご意見に対する取組状況等をまとめました。

基本目標1 確かな学力と学ぶ力を育成します

—	—	学校教育部学校教育課
令和2年度は多くの事業がコロナによる影響を受けたと思います。 小中学校で、林間学校・修学旅行の中止。そして、運動会・体育祭や卒業式・入学式が縮小されて開催された事が寂しい事でした。 そして、学校行事の多くが中止になりました。価値がない学校行事はありませんが、コストパフォーマンスの悪い行事はありました。 これから、行事を選別して実施して欲しいです。【加藤】		
令和3年度の取組状況等	令和3年度の学校行事については、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける場面が多くありましたが、各学校では、コロナの感染状況を注視し工夫を凝らしたうえで可能な範囲での実施を続けてまいりました。その中で、学校行事のねらいや目標、教育的価値や効果といった根幹の部分を確認できる期間にもなりました。今後につきましては、学校行事を含む教育活動全体を、コロナ禍以前の形に戻す中で、コロナ禍で得られた教訓を生かしてまいります。	
—	—	学校教育部学校教育課
これから"GIGAスクール構想”が学校教育にどのような影響を与えるか関心があります。加須市はハード・周辺機器の導入が進んでいると思います。このことで学力アップを期待します。【加藤】		
令和3年度の取組状況等	ICT活用推進校の取組を、情報発信することで各教科の様々な場面でICT機器の活用が進んでおります。活用が進むことで、児童生徒の学習の幅が広がると考えております。また、今後、日常的な学習用端末の家庭への持ち帰りを実施していく方向で考えており、自学習できるようなソフトを使用しながら児童生徒の家庭学習の充実を図ります。	

—	—	学校教育部学校教育課
誰しも得手不得手があります。 児童生徒にとって望ましい授業は自分の学力とやる気に合ったレベルの授業が受けられることと思います。 教師には負担となりますが、高学年になるほど一人一人に対応した配慮（授業難度及び対応）が必要になると思います。【小林】		
令和３年度の取組状況等	小学校における教科担任制の導入や専科指導教員の配置、市内全校に外国語活動指導助手の配置等を行っています。 また、中学校における教科指導充実を目的とした教員の配置や、少人数指導の積極的活用等、指導形態の充実を図っています。今後も引き続き、指導方法の工夫改善を進めて参ります。	

施策２ 幼児教育の推進

0102-02	幼稚園預かり保育事業	こども局こども保育課
加須市は昔から幼稚園がある。 数年間も預かり保育受入率が１００％である。これからも続けてください。【加藤】		
令和３年度の取組状況等	預かり保育無償化により、園によっては保育を希望する方が増えてきています。今後も保護者のニーズを把握し、子供たちの成長を第一に考え、安心・安全な保育を実施し、子育て支援の充実に努めます。	

施策６ 社会の変化に対応する教育の推進

0106-01	学校ＩＣＴ教育活用事業	学校教育部学校教育課
ハード・周辺機器を有効に活用してください。 予算額が大きい事業であるので学力のアップを期待します。【加藤】		
令和３年度の取組状況等	感染症による急な学級閉鎖等にも、学習用端末が導入されたことで、学校と家庭をつなぐ、双方向でのオンライン授業が実施できるようになりました。また、各校で授業での活用が進み、学習用端末の有効的な活用が見られるようになっております。今後も、児童生徒の学力の向上のため、更なる活用の検討と効果を検証してまいります。	

施策 8 キャリア教育・職業教育の推進

0108-01	中学生夢創造チャレンジ事業	学校教育部学校教育課
職場体験学習は、商店・病院などではなく、市の施設（非営利）での体験学習を多くしてほしい。【加藤】		
令和3年度の取組状況等	令和2年度、3年度ともに職場体験学習は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、全ての中学校で中止となりましたが、実施する施設については、生徒の希望や地域の特性を考慮し、多種多様な職種を各学校で検討し、決定しております。また、地域の方々を講師として招き、職業学習を行う等、各校が工夫をして行っています。	

施策 9 安全で快適な教育環境の整備・充実

0109-01 0109-02	小学校施設整備事業 中学校施設整備事業	生涯学習部教育総務課
近年、エアコン・GIGAスクール構想などの事業でかなり予算を使っていました。 各学校の改修工事も確実に実施してください。【加藤】		
令和3年度の取組状況等	令和3年3月に策定した加須市学校施設長寿命化計画に基づき、他の事業計画や財政状況等との調整を図りながら計画的に大規模改造工事等を進めます。	

基本目標 2 地域に信頼され、豊かな心と健やかな体を育む取組を推進します

—	—	学校教育部学校教育課
目標は一人一人の健全な心身の成長（自立できる成人を目指す）にあると思います。 具体的には「道徳」「体育」「地域（社会）との関わり」を重視した教育が大事と考えます。いじめ問題や不登校対策もこれらの一環教育と関連すると思います。【小林】		
令和3年度の取組状況等	体験活動をとおして児童生徒の感情や情緒を育み、心の働きを豊かにする情操教育を推進してまいります。また、自分で考え、正しく判断し、行動できる児童生徒を育成するために、道徳教育、人権教育の推進をさらに図ってまいります。また、「子どもは地域の宝である」と捉え、学校と地域が協力し、子どもたちを育ててまいります。	

施策2 いじめ・不登校の根絶

0202-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育部学校教育課
卒業後の生徒の追跡調査もしてください。【加藤】		
令和3年度の取組状況等	不登校生徒の進路の把握は可能ですが、一部の生徒への追加調査は難しいと考えております。	

0202-02	教育センター運営事業	学校教育部学校教育課
以前、教育センターを訪問した時、センター員が少なく児童・生徒の対応が十分にできるか不安を感じました。【加藤】		
令和3年度の取組状況等	教育センターには、5名の指導員が常時おります。また、相談員も3名おります。児童生徒の通級状況は、日によって変わりますが、概ね児童生徒2名に対して1名の指導員が対応している状況です。また、相談員も児童生徒の様子をみながら声かけをしており、ふれあう時間をとっております。	

施策5 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

0205-01	学校いきいきステーション事業	学校教育部学校教育課
新規学校応援団の人を増やすより、活動している学校応援団の人を減らさない活動をしてください。【加藤】		
令和3年度の取組状況等	新型コロナウイルスの感染も少し落ち着き、ようやくコロナ禍以前の活動もできるようになってきました。これからも活動をしていただいている応援団の方を大切して参ります。また新しい応援団の方も募り、活動の幅を広げていきたいと考えております。	

0205-03	あいさつふれあい推進事業	学校教育部学校教育課
校外よりも、校内でのあいさつを大切にしてください。【加藤】		
令和3年度の取組状況等	学級、学校内での指導の充実を図り、誰とでもさわやかなあいさつを交わせる児童生徒の育成に努めて参ります。	

0205-07	通学路安全対策事業	学校教育部学校教育課
市内のある小学校の通学路にガードレールを設置してあります。しかし、雨の日のガードレールに水たまりがあるので、ガードレール外を歩いています。その辺の調査をして下さい。【加藤】		
令和3年度の取組状況等	通学路の危険箇所については、毎年定期的に点検を実施しております。各校からの報告をもとに対応を行っております。該当の箇所については、是非学校に情報をお寄せください。関係各課と連携し、対応について協議いたします。	

施策6 青少年の健全育成の推進

0206-01	成人式開催事業	生涯学習部生涯学習課
加須市以外出身者も出席できる環境を整備してください。【加藤】		
令和3年度の取組状況等	加須市以外出身者についても、状況に応じて成人式に参加が可能となっております。新型コロナウイルス感染症の終息後、対象者の拡大を検討してまいります。	

基本目標3 人権を尊重した教育を推進します

—	—	学校教育部学校教育課
人権教育は「道徳教育」の中で学ぶことが自然ではないかと思います。地域差（特別な事情）があればその地域で重要視すれば良いと思います。		
人権教育と道徳教育とは本来その役割に差があり両者とも同等に重要ではないでしょうか。【小林】		
令和3年度の取組状況等	人権教育においては、各小・中学校で、全教育活動を通じ計画的にて取り組んでおります。道徳教育につきましては、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標としております。児童生徒の正しい人権感覚と人権意識の向上を図り、各校の実情、児童生徒の実態や発達段階に応じた教育活動の推進を図ってまいります。また、それに携わる教職員の人権意識と道徳性を養えるようにしてまいります。	

—	—	生涯学習部生涯学習課
学びや芸術・文化などに対する興味関心は個人差があるので、教育委員会の役割としてはできるだけ広い分野の活動の種（活動内容、サークルなど）を紹介することを期待します。 生涯学習コンテスト（展示、説明、サークル紹介など）もトライしてはどうでしょうか。【小林】		
令和3年度の取組状況等	生涯学習市民企画委員と協働でセミナーやイベントを通じた生涯学習事業を推進するとともに、平成国際大学と連携した「加須市シニアいきいき大学」など生涯に渡る学びの場を提供しております。 毎年12月に生涯学習市民企画委員と協働で開催する『生涯学習フェスティバル』では、セミナー受講生の作品展示や市民団体のパフォーマンス発表、サークル紹介など、アウトプットする機会を設けております。	

基本目標4 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

施策2 芸術文化の振興と郷土愛の醸成

0402-03	まちかど美術館推進事業	生涯学習部生涯学習課
お店によって、児童の作品展示に温度差を感じる。児童がお店で作品を見たとき悲しさを感じる展示があります。 お店に悪気は感じないが、そろそろ難しい事業ではないでしょうか。【加藤】		
令和3年度の取組状況等	作品の展示場所については、店舗の方と協議のうえ、決定しております。また、まちかど美術館事業に同意いただいている店舗の中には、事業廃業後も厚意で作品の展示をいただいている方もおります。 中心市街地商店街を始め、地域の事業所の協力のもと、商店街の活性化を図ると共に、児童の作品の発表の場として、一定の成果をあげてまいりました。 展示につきましては、まちかど美術館事業にご協力いただける事業所店舗の状況等により、展示の方法に影響を受けてしまいましたが、児童等の作品を展示することで、気軽に見て触れ合える芸術文化に親しむことを目的に、展示作品数を調整するなどし、芸術文化に親しむ環境づくりを図ってまいります。	

施策 3 文化財の保存・活用

0403-02	加須インターネット博物館管理運営事業	生涯学習部生涯学習課
加須の歴史・文化知ることができる。 重要なのはコンテンツの更新やリアルタイム情報発信だと思います。加須の歴史・文化を発信してください。【加藤】		
令和 3 年度 の取組状況等	無形民俗文化財（神楽、獅子舞等）の公開日程などのリアルタイムな情報発信を、引き続き進めてまいります。また、年齢を問わず多くの市民に理解していただけるように、文章や映像等、表現の工夫を研究してまいります。今後とも内容を充実させ、加須の文化財情報を広く発信してまいります。	

0403-03	伝統文化継承支援事業	生涯学習部生涯学習課
近年、かるた大会が競技になっている。伝統文化を継承する方向に活動する変更してほしい。【加藤】		
令和 3 年度 の取組状況等	加須市郷土かるたを日常生活の中で活用していただき、地域の伝統文化や歴史に触れ、郷土への愛情と誇りを深めることを目的とし作成されたものです。かるた大会の開催は、子どもたちが郷土加須への愛着を深めるための一つの手段です。近年、競技志向が強く感じられることから、趣旨を再認識し、郷土愛を深めるため大会形式から「かるた」の有効活用へのシフトを検討してまいります。	

基本目標 5 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります

—	—	生涯学習部スポーツ振興課
時代にあっていない競技もある。スポーツで地域交流をするのは難しいのではないのでしょうか。【加藤】		
令和 3 年度 の取組状況等	市民と連携した地域活性化を図るため、女子硬式野球やスポーツクライミングをはじめとする全国・世界規模大会の誘致・開催に積極的に取り組むとともに、スケートボード、ウォーキング、グラウンド・ゴルフなどを推進しスポーツを核とした交流人口の拡大を図ってまいります。 また、市民が一堂に会して行うことのできるスポーツイベントを検討し地域交流を推進してまいります。	

施策 1 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進

0501-08	クライミング普及事業	生涯学習部スポーツ振興課
クライミング大会の日でも、街中でも大会をアピール展示などが少ない。もっと大会開催のアピールをしてください。【加藤】		
令和3年度の取組状況等	大会開催の周知は市ホームページや広報紙で行っており、新型コロナウイルス感染症対策として無観客とした大会を除き、市内駅舎に横断幕を掲げるなど大会開催のアピールを行っております。また、関係団体と連携し、大会の様子を動画配信するなど取り組んでおります。引き続き、様々な方法を検討し、多くの方に知っていただくよう努めてまいります。	

0501-10	加須ふじの里駅伝大会支援事業	生涯学習部スポーツ振興課
駅伝大会の開催は少ないと聞いています。加須をアピールして開催してください。【加藤】		
令和3年度の取組状況等	大会開催の周知は市ホームページや広報紙によって行っております。引き続き多くの方に参加いただけるよう広報の充実のほか、関係団体と連携し引き続き開催してまいります。	

施策 3 スポーツを活用した地域活性化の推進

0503-02	女子硬式野球振興事業	生涯学習部スポーツ振興課
全国女子硬式野球ユース大会、全国高等学校女子硬式野球選抜大会と全国レベルの加須市で行われている。埼玉西武ライオンズ・レディースと一緒に女子硬式野球を盛り上げてください。【加藤】		
令和3年度の取組状況等	「女子野球タウン」認定市として、全日本女子野球連盟と協働し女子野球フェスタを開催するなど女子野球の推進に取り組んでおります。また、埼玉西武ライオンズ・レディースの本拠地として、女子野球大会の継続開催や埼玉西武ライオンズ・レディースの支援などを引き続き行ってまいります。	

7 学識経験者の意見

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項」の規定に基づき、教育に関する学識経験を有する方の知見を活用するため、令和3年度の取組状況について、元教育委員小林義之氏及び元大桑小学校校長新井信男氏からご意見をいただきました。

(1) 小林義之氏

① 評価に関する全体的な意見

令和3年度の業務遂行での特徴の一つは、昨年度同様に新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けたことであり、業務遂行の概況として、38／97（約39％相当）が「コロナによる影響」として評価の対象とならなかったことは非常に残念です。

従って教育行政全般に対するそのマイナス影響と今後の挽回策・対応内容についての検討が特に必要と考えます。

例：全年齢層でのコロナ禍による外出活動自粛下での体力維持向上について

例：制約を想定した状況下での学力や生涯学習の向上、ICT活用の推進について

② 各基本目標についての意見・感想

新型コロナウイルス感染症の常態化によって活動目標の中止や縮小が頻発し、関係者の対応ご苦労は大変であったと思います。そのような状況下での「教育に関する点検評価報告書」ですので、個々の対応に対する評価とは別に一般論としての私見も述べさせていただきます。

基本目標1：自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

児童生徒にとって望ましい授業は学力とやる気に合った授業が受けられることと思います。教師には負担と思いますが、そうでなければ全体的なレベルアップは難しいと考えます。教育活動補助員の配置効果には期待しています。自ら学ぶ力の育成は重要であり、教師にはその育成を期待します。教師の指導力については学力検査結果で判断する厳しさも必要と思います。

基本目標2：豊かな心を育む取組を推進します

目標は児童生徒の健全な心の成長であり、児童生徒の自立力（自信や信念など）を鍛えないと大人になって困ることを懸念します。

教育センターなどに期待することは必要ですが、「子どもは大人の背を見て育つ」ことも事実であり、家庭教育の課題とも考えます。家庭教育への影響力行使は難題と考えますが、その突破口を開く挑戦も期待したいです。

基本目標 3：安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

学校給食及び健康診断については十分に配慮された実践がなされていると思います。ここでの課題は「健やかな体の育成」ではないでしょうか。コロナ禍の悪条件下では特に工夫された実践が（体力テストの結果も参考に）必要に思います。

基本目標 4：質の高い教育のための環境づくりを推進します

「質の高い教育」とは何かを自問してみましたが、難しいテーマであり工夫を要する課題と思いました。予算額的には施設整備費が高額となるので適切な遂行を期待します。

基本目標 5：家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

新型コロナウイルス感染症の影響で活動が停滞し残念に思います。その中でも成功した具体例などを共有しては如何でしょうか。

基本目標 6：生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

学びや芸術・文化に対する興味関心は個人差があるので、引き続いて広い分野の活動（活動内容、サークルなど）紹介を期待します。生涯学習コンテストの拡大はどうでしょうか。

基本目標 7：スポーツ・レクリエーションの力で元気な市民と活力ある加須市をつくります

スポーツ・レクリエーションの普及には指導者に寄与することが大きいと思います。

技術力向上や体力増進などの効果に限らず、人的交流や地域まちづくりの基盤ともなると考えます。

高齢化に伴い一人でも出来るスポーツが年々重要となっていると思います。

③ 各事業についての意見・感想

基本目標 1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

施策 2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

0102-03	小学校英語教育推進事業	学校教育部学校教育課
目標 50%、達成率 45%と低いのは何故でしょうか？小学生からつまずくとその後が心配です。100%目標は高過ぎるのでしょうか？ 教え方の工夫は必要ないでしょうか。		

0102-04	中学校英語教育推進事業	学校教育部学校教育課
英語検定 3 級程度の中 3 生徒の割合（33%）が非常に低い。この様な実態では上位生徒と下位生徒と一緒に勉強すること、及び先生方のご苦勞と同時に授業効率の悪さを察します。		

施策 7 自立する力の育成

0107-10	学校グリーンカーテン事業	学校教育部学校教育課
環境に興味・関心をもっている児童生徒の割合実績（0%）とは？ アンケートを実施しなかったのなら同児童生徒の割合は（不明%）ではないでしょうか。 更に、何故アンケートを実施しなかったのでしょうか？		

0107-15	中学生夢創造チャレンジ事業	学校教育部学校教育課
ふれあい講演会が中止されたのは仕方ないが代替案は？新年度はどうされるのでしょうか？中学生にとって大事なことを考えます。		

基本目標 2 豊かな心を育む取組を推進します

施策 1 いじめ対策の充実

0201-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育部学校教育課
担当者のご努力に感謝致します。保護者（家族など）の役割も極めて重要な課題と考えます。児童生徒にとっての学校は自信を付ける場と捉えて欲しいと願っています。		

基本目標 3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

施策 3 健康の保持増進

0303-01	小学校健康推進事業	学校教育部学校教育課
0303-02	中学校健康推進事業	
歯磨き指導など子供の内からの習慣化が大切だと思います。今後も継続して頂きたいです。		

基本目標 5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

施策 3 学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進

0501-09	通学路安全対策事業	学校教育部学校教育課
通学路安全点検や報告に基づいた危険個所の点検を踏まえての安全対策に感謝致します。同時に、交通安全指導員や登下校見守りをされた保護者や教師の方々にも感謝致します。		

基本目標 6 生涯にわたる学びの支援や芸術・文化の振興を図ります

施策 1 生涯学習活動の推進

0601-02	生涯学習推進計画進行管理事業	生涯学習部生涯学習課
事務事業達成度における「概ね順調」「達成済」の割合（％）について。 前年度実績が 100％にも拘らず 7 年度まで目標が 95（％）なのは何故でしょうか？		

(2) 新井信男氏

① 評価に関する全体的な意見

全97事業について、各課が加須やぐるまマネジメントシステムに従って、よく取り組んでいることが本報告でよく理解できました。特に各事業の目的、概要、取組内容、評価及びその根拠としての指標や理由、改善点や今後の取組内容等が丁寧に記載されており、視覚的にも大変分かりやすいものでした。

そして、総じてほとんどの事業において、自己点検の結果がよい評価となっていることに、各課の努力の賜物であると敬意を表します。

基本目標7つの到達度評価についても、それぞれの具体的な状況がよくまとめられていると感じました。

令和3年度は、特に新型コロナウイルス感染症への対応から、事業の取組も十分にできなかったところが多くあったことから、各課においては、非常に御苦労が大きかったのではと想像できます。そのことを踏まえて、今後は、コロナ時代の事業について、先を見て、検討していくことが求められると感じています。いつ完全終息（収束）するのか見当がつかない以上、コロナに対応した事業の取組を検討しつつ、随時対応していくことが重要だと考えます。

さらに、各事業においては、総合振興計画によるものですが、目的とその指標を検討すべきかと考えます。評価がすべてではありませんが、目標や指標の設定については、再考の余地があるのではないかと考えます。成果指標によって、評価が決定されるのであれば、一層の検討が必要となる事業も多いように考えます。

これらを踏まえ、意見と言うよりも感想になりますが、特に気になった事業について以下に述べます。

なお、事業は、総合振興計画によるものであることは理解した上で、意見を述べました。

いずれにしても、令和3年度の点検評価をどのように令和4年度以降に生かすかが重要であると考えます。

② 各事業についての意見・感想

基本目標1 自ら学ぶ力と確かな学力を育成します

施策1 幼児教育の推進

0101-02	幼稚園預かり保育事業	こども局こども保育課
加須市の公立幼稚園は、全国的にも誇れるものです。日頃の幼稚園における保育は、先生方が大変よく工夫しており、それによって、		

保護者からの信頼も大きいものです。

全国及び県内の公立幼稚園が減少する中、加須市の幼稚園のあり方も検討されているようですが、現時点では、保護者の教育的ニーズをよく取り入れていると考えます。その1つが本事業であり、コロナ時代においても、各園が工夫して、預かり保育を実施できたと言えると考えます。

施策2 一人ひとりを伸ばす教育の推進

0102-01	少人数学級推進事業	学校教育部学校教育課
本事業の指標は、人的な配置状況です。現在、「学校における働き方改革」が社会問題にもなっており、文科省も県も市も具体的な目標値を定めています。その目標値が達成できるかどうかに関わる重要な取組は、人的配置であると考えます。現場で働く教員一人一人の働き方を改革するには、業務量の削減を抜きに語れません。そのための人的配置は最も効果的な方策であると考えます。 本事業により配置された教育活動補助員は、小学校・中学校の教員免許状を所有し、よい授業を展開する実践力をもっています。実際に、各学校において大きな成果を上げています。このような教育活動補助員を一人でも多く配置することは、学校にとって、子供たちにとって、大変重要であることを強く感じます。本事業の拡大を強く望みます。		

0102-02	学力アップ事業	学校教育部学校教育課
この事業の目的は、「学力向上を図るため、・・・学習指導の展開を目指す」とありますが、指標が県学調の県平均正答率と市平均正答率の比較となっていることがどうなのかと思われます。指標が限られていることは理解できますが、子供たちの学力は、県学調をとってみても、いわゆる教科の点数の結果だけではなく、質問紙調査や非認知能力の結果についても含めて評価したいものです。例えば小学校の児童の学力は、国語と算数の点数だけで語ってよいものでしょうか。仮にその点数にしても、子供たちの学力の伸びとして、評価するかが重要であると考えます。単なる平均正答率の比較では、この事業はおろか、子供たちの学力向上を図ることはできないと考えます。 学力は、児童生徒一人一人の伸びとして捉えることが大切であると考えます。その学力の伸びが、県学調の結果には明確に示されていますので、県と市で比較することができます。平均正答率に左右されるのではなく、加須市の子供たちの学校生活における学習への取組実践や意欲・態度は、県と比較して上回る項目が多くあることを評価したいです。学力の3要素は、基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に取り組む態度です。点数や平均正答率では学力は測れないと考えます。		

中学生の「加須まなびT i m e」が実施できなかったのは、新型コロナウイルス感染症の影響であり、納得できますが、今後、コロナ時代にどう対応していくのか検討しておくべき課題であると考えます。

0102-03	小学校英語教育推進事業	学校教育部学校教育課
0102-04	中学校英語教育推進事業	

中学校の英語の学力検査の点数だけで言えば、加須市は課題があることはここ数年承知しています。しかし、本事業の指標が、点数でない点を注視します。小学校は外国語の目標を概ね達成した児童の割合及び楽しいと感じている児童の割合、中学校は英検３級程度の英語力を有する中学校３年生の割合となっています。この事業の目的は、それぞれ「・・・言語や文化に対する理解を深め、・・・コミュニケーション能力（態度）を育成する」こととなっており、指標として示している内容は、小学校については、外国語の目標を概ね達成したとありますが、具体的にはどういうことでしょうか。また中学校についても、英検３級程度とは具体的に何を基準にしているのか確認したいです。また、加須市内の全数調査なのかも確認したいです。

さらに、本事業における英語教育研究員の学校訪問や研修は、大変効果的です。このことは全国的にも例を見ない実践です。教育委員会事務局に英語教育研究員がおり、ネイティブな英語を身に付けているとともに、日本文化や日本の教育についても精通しているという点は素晴らしいことです。英語への関心が高まる中、本事業の意義と実績を広く知らせていただきたいです。

0102-05	サイエンススクール事業	学校教育部学校教育課
評価は、「６・コロナによる影響」であり、全くその通りであると理解します。 本事業は、小学校４年生時における大変効果的な事業であり、子供たちの興味・関心を高めるためにも、継続を強く望みます。理科離れが叫ばれる昨今において、加須未来館という素晴らしい施設をぜひ有効に活用していただきたいです。加須未来館学習＝サイエンススクールは、本市教育の特色です。 そのために、コロナ時代においても、活用できる手段を検討していただきたいです。例えば、学級単位での利用であれば可能とするなどです。		

0102-08	生徒派遣援助事業	生涯学習部教育総務課
事業の概要は、全国大会に出場する選手の派遣費補助を行うことです。指標が交付件数となっていますが、全国大会に出場できるの		

は、県大会等を好成績で勝ち抜いた生徒です。交付件数ではなく、そのときの選手の派遣に対する補助の割合とすべきではないでしょうか。当該生徒の交通費、宿泊費、参加費、その他等、全国大会出場に係る費用の援助の割合を指標とすべきではないでしょうか。もちろん、100%が目標値となるでしょう。

また、選手とは別に、引率教師の費用の負担はどうなっているのでしょうか。県費出張旅費で賄えているのか。学校や教師個人に負担はないのかも確認したいです。

施策3 教職員の資質能力の向上

0103-01	学校訪問指導事業	学校教育部学校教育課
評価が「3 やや遅れている」とありますが、成果・数値を見ると「6・コロナによる影響」ではないでしょうか。 前述したように、学力という点についての捉え方に検討の余地があり、本事業の趣旨は、学力向上に直結する教師の指導力向上については、学校訪問による指導が大変重要です。その訪問指導がコロナにより実施できなかったと捉えるべきではないでしょうか。 幼稚園・学校訪問は、指導主事等の重要な職務と捉えますが、コロナ対応もあり、今後もこれまでと同じような訪問指導は難しいと考えます。令和4年度以降もコロナ対応を検討しつつ、オンラインなどをうまく使って、指導主事の高い知識と技能を活用できることを望みます。実際に、教師の授業を1単位時間参観することは大切なことですが、それができない時代であれば、それなりに訪問事業の在り方を検討すべきではないでしょうか。		

0103-02	学習指導改善研究事業	学校教育部学校教育課
この事業についても、学力の捉え方と指標の関係について、検討が必要ではないかと考えます。加須市として、学力をどう捉えるのか、学力や学力の伸びを何で測るのか、根底を確認したいです。 幼稚園・小中学校の充実した教育実践とは何か、目的とその概要を広く周知したいです。 幼稚園、小中学校における学習指導は、学力向上のみならず、学力を含めた知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成が目的です。そのために、本事業の趣旨である指導改善・研究は、大切なことであると考えます。 指標の数は2つに限定されているのですが、体力を取り入れたのは意義深いです。 さらに「徳」をどう評価するのか、検討してほしいです。		

0103-04	社会科副読本資料作成事業	学校教育部学校教育課
社会科副読本「かぞ」は、事業目的にあるように郷土「加須市」を愛する児童の育成を目指す重要な教科書と言ってよいものです。作成委員は、市内の経験と力量のある優れた教員が本来業務のほかに時間を費やして、研究し、作成しているということを知らせたいです。3年に1度の改定と言うことも、「生きた教材」として、変化の激しい時代をうまく反映できているものです。 今後の取組にあるように、教師が指導しやすいという点も重要です。児童の評価テストだけでは測れない生きた教材に近いものが副読本であり、よりよい副読本を作成していただきたいです。		

施策4 ICTを活用した教育の推進

0104-01	学校ICT教育活用事業	学校教育部学校教育課
本事業は、コロナ時代において、最重要課題の1つであると捉えています。本市がいち早く一人一台のタブレットや各教室への大型モニタの完備を実現できたことに感謝します。このことにより令和3年度のコロナ対応時においても、登校することが困難な児童生徒が、学習を止めることなく、さらに、友達や教師とタブレットを通してつながることができたという大きな成果につながりました。子供たちのタブレット活用能力と教師の指導力は、令和3年度において大きな向上を果たしたと言えます。そのことが評価に反映されているのか確認したいです。 併せて、2つの指標の割合が、具体的にどのように算出したのかを確認したいです。 教職員の情報活用能力を育成するために、学校教育課の指導主事や教育センターの職員による支援や研修、企業の支援員によるサポートは大変効果的でした。 今後も、予算も多く必要とする本事業の目的が十分に達成できることは重要です。		

施策5 特別支援教育の推進

0105-01	特別支援教育推進事業	学校教育部学校教育課
小・中学校において、これまでの知的障害や情緒障害等を支援することだけでなく、通常学級に在籍するいわゆる発達障害の子供たちをいかに支援していくのかは、すべての学校において大きな課題となっています。本事業の対象となる児童生徒の範囲を明確にしておきたいと考えます。 全国的に、特別支援学校の在籍数も増加傾向にあるとともに、特別支援学級や通級指導教室を希望する児童生徒も増加しています。		

それだけ、特別支援教育が保護者に受け入れられているということです。

特別支援教育を推進する上で、大切なのは、

- ① 特別支援教育に対する保護者及び市民の理解促進
- ② 担当する教師の指導技術等の専門性の向上
- ③ 特別支援教育に係る人的支援（介助員の増加）
- ④ 特別支援教育に係る物的支援（教材や施設の充実）

などと考えますが、この中で、特に行政として充実してほしいのは③、④です。特別支援学級に在籍する児童生徒数や通級指導教室に通う児童生徒数の増加を考慮して、本事業を推進してほしいです。

指標になっている「ことばの教室」は、本市が力を入れている特別支援教育の1つであり、特色ともいえます。ただ、これだけを指標とすることで本事業を評価することができるのか疑問が残ります。

さらに、幼稚園における特別支援教育対象の幼児に対する支援は、どのように取り組まれているのか、どの事業によるのかを確認したいです。

施策7 自立する力の育成

0107-04	防災教育推進事業	学校教育部学校教育課
東日本大震災から10年以上が経過し、地震や津波に対する防災教育は改めて重要視しなくてはなりません。特に、異常気象としての集中豪雨や台風の大型化などの風水害に対する防災教育は、本市にとっても喫緊の課題であり、本事業の意義は大きいと考えます。		
指標になっている「加須市防災教育指導資料」の活用を今後も十分に図っていただきたいです。本資料は、学校及び子供たちにとって、大変よい資料であると考えます。		

0107-10	学校グリーンカーテン事業	学校教育部学校教育課
まず、評価が「4 大幅に遅れている」となっている根拠を明らかにしたいです。		
アンケートが実施できなかった理由は何でしょうか。実施できないことによって、評価が遅れているということなのでしょう。		
グリーンカーテンが33校・園で実施できていることを考えると、評価はもう少し良くなるのではないかと考えますが、いかがでしょうか。		

本事業の目的からすると、グリーンカーテンだけでなく、かなり広範囲にはなるが環境教育を踏まえたSDGsとして改善すべきではないかと考えます。

0107-15	中学生夢創造チャレンジ事業	学校教育部学校教育課
評価「3 やや遅れている」の理由がよく分かりません。 職場体験学習もふれあい講演会も、コロナ対応で実施できていないことが理由であり、中学生や中学校にとっては、それぞれ、最も重要なキャリア教育の1つです。コロナ対応がなければ、必ず実施するものではないかと捉えています。「やや遅れている」という評価は、妥当とは言えないのではないかと考えます。		

0107-16	市職員マンパワー活用事業	学校教育部学校教育課
評価「6・コロナによる影響」はよく理解できます。 その上で、今後のコロナ時代に対応したマンパワー活用を検討・実施したいものです。 ゼロ予算事業ではありますが、学校にとっても、行政にとっても効果が期待できる有効な事業と捉えています。		

基本目標2 豊かな心を育む取組を推進します

施策1 いじめ対策の充実

0201-01	いじめ・不登校対策事業	学校教育部学校教育課
学校現場において、学力向上と並んで重要視している課題が「いじめ」や「不登校」です。 不登校については、指標にもありますが、2年度よりも不登校の割合が多くなっているところがあり、評価「3 やや遅れている」も仕方ないのかと言えます。しかし、県全体や国全体の数が分かれば、その割合と比較することも必要でしょう。 新型コロナウイルス感染症の影響が少なからず、不登校に影響していると感じています。 学校も行政も、不登校問題に全力を尽くしていることを知らせたいのですが・・・。 不登校に係る目標としては、新たな不登校の出現を0とすることが現実的ではないかと考えます。このことにより、現状の不登校を改善することに取り組まないということではありません。 また、この評価については、いじめについての記載がないことが納得できません。令和2年度と令和3年度のいじめの現状を確認し		

たいし、そのことも評価に反映すべきであろうと考えます。

そもそも、いじめも不登校も、学校現場においては生徒指導上の課題ですが、捉え方も対応も全く別のものです。事業の数を増やすことは避けたいですが、本来は、別々の2つの課題を併せた事業になっていると考えます。改善したいです。

施策2 幼児教育の推進

0202-01	教育センター運営事業	学校教育部学校教育課
評価「1 目標を達成」は素晴らしいです。コロナ時代においても、教育センターの事業内容 ①不登校問題への対応とした適応指導教室「ピア」の運営 ②教育相談の充実（特別支援教育の相談を含む） ③教職員研修の実施 ④ 教育センターだよりの発行や教育資料の保管・活用 などを工夫して実施した成果であると捉えます。 特に不登校問題に対応する「学習室ピア」の運営や教育相談におけるスクールソーシャルワーカーや福祉の関係機関と連携を図った実績も示せるとよいと考えます。 さらに、特別支援教育の推進として、個別の発達検査を実施している点についても感謝します。本市の教育センターの特色の1つであると捉えています。		

施策3 学校等における人権教育の推進

0203-01	集会所管理運営事業	生涯学習部生涯学習課
小中学生学級や成人学級など、新型コロナウイルス感染症の対応として実施できなかったことから、評価「6・コロナによる影響」は理解できます。 今後は、コロナ時代を受けた集会所運営を検討し、実施していくことが重要ではないでしょうか。		

基本目標3 安全で安心な学校給食の提供と健やかな体の育成を推進します

施策1 安全・安心な給食の提供

0301-01	給食センター管理運営事業	学校教育部学校給食課
児童生徒に、安全安心でおいしい給食を提供していることに感謝します。事故なく提供できている点は、当たり前と片付けてしまいがちですが、このことは大きな成果であると捉えます。 さらに、給食センターが、毎学期ごとに、児童生徒に給食に関するアンケートを実施し、学校栄養士を中心として、給食の改善に日々取り組んでいることにも、ぜひ、目を向けたいです。 令和3年度は、コロナ対応を受けた児童生徒の登校状況も非常に複雑でした。給食費を無償とする月を設けたり、感染・濃厚接触児童生徒の給食費を徴収しなかったり、給食の対応を臨機応変に対応していただいた事に学校としては大変ありがたいと感じています。保護者も同じでしょう。 給食食材の値上がりもあり、給食費を値上げせずに対応している御苦勞にも改めて感謝します。		

0301-02	給食費収納対策事業	学校教育部学校給食課
現年度収納率99.98%は、保護者、学校、行政の協力した成果です。 令和2年度の収納率99.93%も素晴らしいですが、回収できなかった給食費は実際にいくらで、回収に至ったのかを確認したいです。また、過去の未回収分の給食費についても確認したいです。		

基本目標4 質の高い教育のための環境づくりを推進します

施策1 安全で安心な教育環境の整備

0401-01	小学校管理運営事業	生涯学習部教育総務課
0401-02	中学校管理運営事業	
小中学校の備品、消耗品などの購入費の予算措置、執行など、評価「2・概ね達成」は、十分であると捉えます。むしろ、「目標を達成」でもよいのではないのでしょうか。 指標が、図書整備率となっていますが、これも、ほとんどの学校で整備できていると言ってよい値ではないのでしょうか。さらに、今後の学校図書館が電子化による管理を目指しているのか、検討しているのかを確認したいです。 また、執行率が100%ではない理由を伺いたいです。		

0401-07	小学校施設整備事業	生涯学習部教育総務課
0401-08	中学校施設整備事業	
小・中学校の施設・設備の整備について、安心・安全という点でも評価「1・目標を達成」は感謝します。 その中で、執行率17%、18%の理由（繰り越しになった理由）を伺いたいです。 指標である大規模改造工事実施率については、長期的な展望をもって、計画・執行されていることが理解できました。		

基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組を推進します

施策1 学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進

0501-01	学校いきいきステーション事業	学校教育部学校教育課
加須市は、埼玉県の学校応援団の発祥の地です。幼稚園・学校・家庭・地域が一体となって、子供の支援、教育活動の支援をすることが本事業の目的と捉えています。 その中で、幼稚園・学校応援団の登録者数の減少という課題は、今後の展望という点で、重要かと考えますが、そのことで各学校が支障を感じているのでしょうか。登録者数は本事業の一部であり、実際に子供たちの健全育成に学校応援団がどう関わったかによって評価となるのではないのでしょうか。各学校の実情と併せて今後の事業の方針を検討すべきと考えます。 いずれにしても、新型コロナウイルス感染症の影響で、応援団の幼稚園・学校への直接的な来校や活動等が制限されているところもあります。子供たちの登下校を見守る応援団（交通指導員を含む）、実際に教師の片腕となって学習や遊びの支援を行う応援団、草取りや施設設備の修繕等を行う応援団、その他幼稚園・学校の実情に応じて、協力をいただいている地域の皆様に深く感謝します。		

0501-03	あいさつふれあい推進事業	学校教育部学校教育課
その他の事業において、「6・コロナによる影響」が大きいという結果が多い中であって、本事業が「あいさつふれあい」の大切さを各学校が十分に理解し、実施している点が素晴らしいと考えます。コロナ時代においても、やらなくてはならないことをしっかり実施した証です。 その中で、児童・生徒のアンケート結果も令和2年度と比較するとほぼ同じ結果ととることもできます。評価「2・概ね達成」は妥当であると感じます。		

幼稚園・学校によっては、コロナ状況にもよるが、青少年健全育成関係団体の応援もいただいたり、保・幼・小・中が協力したりして、あいさつ運動を実施しているところもあります。

駅や街頭での「加須市あいさつ運動」は、コロナ状況を見ながら実施できればよいですが、まずは、各学校が実情に応じてあいさつ運動を実施することが大切であり、工夫して実施できるとよいと考えます。

0501-09	通学路安全対策事業	学校教育部学校教育課
全国で子供たちを巻き込んだ交通事故が多発しています。本事業は、子供たちの安心・安全に直結した通学路の整備が主たる目的となっています。 まず、評価「1・目標を達成」は大きな成果であると言えます。各学校は、千葉県の事故を受け、通学路の総点検を再度行って、改善要望を出しました。その対応が100%であることに安心しました。 確認したい点として、予算に対する執行率が8%となっていることはどういうことでしょうか。		

その他

		生涯学習部生涯学習課 生涯学習部図書館課 生涯学習部スポーツ振興課
生涯学習課、図書館課、スポーツ振興課が所掌する事業については、評価「6・コロナによる影響」が多くなっています。これは、納得できる評価ではありますが、今後のことを考慮して、コロナ時代にどう対応するか事業ごとに検討すべきであろうと考えます。 そのような中でも、評価「1・目標を達成」「2・概ね達成」となっている事業については、大変な苦勞をされての結果であると推察します。感謝します。 特に、「市民カレッジ事業」「加須インターネット博物館管理運営事業」「図書館管理運営事業」「グラウンドゴルフ推進事業」「オリンピック・パラリンピック関連事業」などは、コロナに対応して工夫された結果が、指標の値にも表れていると捉えています。素晴らしいです。		

8 おわりに

加須市教育委員会では、「家族・地域の絆を大切に、生きる力を醸成する」を基本理念として、7つの基本目標、26の施策を位置づけた、「第2次加須市人づくりプラン」を令和3年3月に作成しました。このプランに位置付けられた161の事業の中から、教育委員会の権限に属する94事業及び教育委員会運営事業など体系外の3事業を加えた97事業を対象に、事務事業の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成いたしました。

令和3年度においては、昨年度に引き続き、全97事業のうち38事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、各種行事の中止や延期等をせざるを得ない状況となったことから、「コロナによる影響」とする評価区分を設け、全体評価を行いました。

評価の結果、「目標を達成」が28事業、「概ね達成」が26事業であり、91.5%の事業を円滑に実施することができました。これらの事業については、より効果的な取組内容を検討しながら、引き続き取り組んでまいります。

一方で、「やや遅れている」が4事業、「大幅に遅れている」が1事業と、8.5%の事業については、事業が遅れている状況となっております。各事業の目標を達成するため、内容を精査するとともに、改善に向けた見直しを行ってまいります。

また、「コロナによる影響」と評価した38事業につきましても、引き続き感染予防対策を取りながら、アフターコロナの時代を見据えつつ事業を推進してまいります。

今回、元加須市教育委員の小林義之氏及び元大桑小学校校長の新井信男氏の2名の学識経験者から貴重な御意見をいただきました。これらのご意見を生かしながら、自己評価で見つかった課題とともに改善につなげてまいります。また、点検及び評価の様式や方法についても、よりわかりやすく、より適切なものとなるよう、引き続き検討を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症は3年目の長期に及んでおり、収束が不透明な状況の中、教育行政におきましても、3密の回避や新たな生活様式を踏まえた上での事業推進やICTの更なる活用による各事業の活性化や見直し等が求められております。また、社会環境や生活環境の変化に伴う長期にわたる制限によって、体力や心身の活力低下等新たな課題も顕在化し、これまでとは異なる方法、異なる取組も必要になっています。

こうした状況に対応しながら、効果的な教育行政を推進するとともに市民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会の事務事業の点検及び評価を活用し、これからの時代にふさわしい本市の教育を総合的かつ計画的に推進してまいります。

令和4年9月
加須市教育委員会